

凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

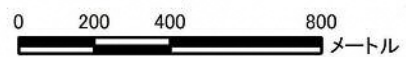
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

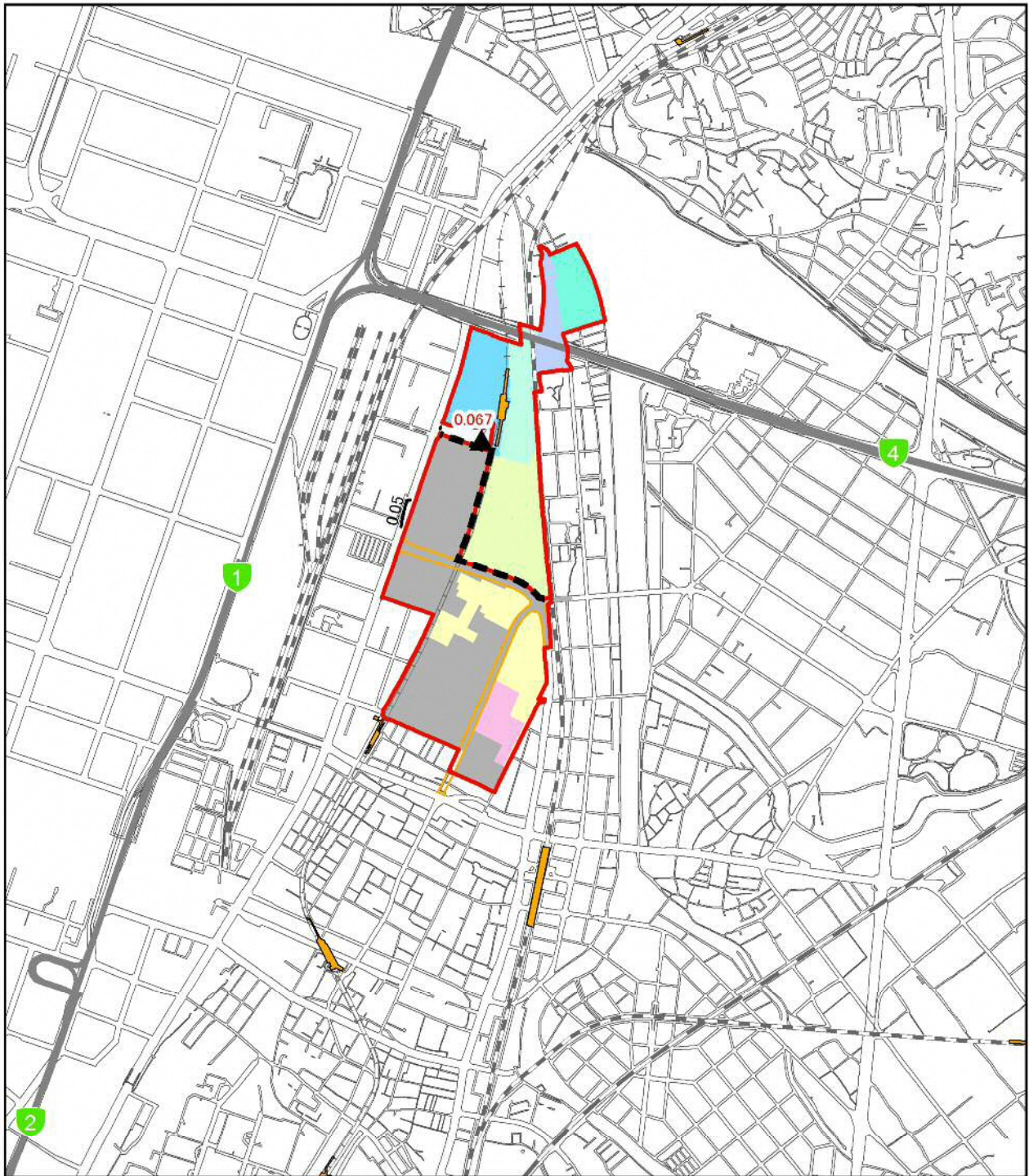


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 SSW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(4) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 SSW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

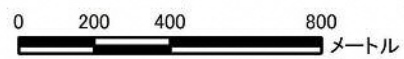
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

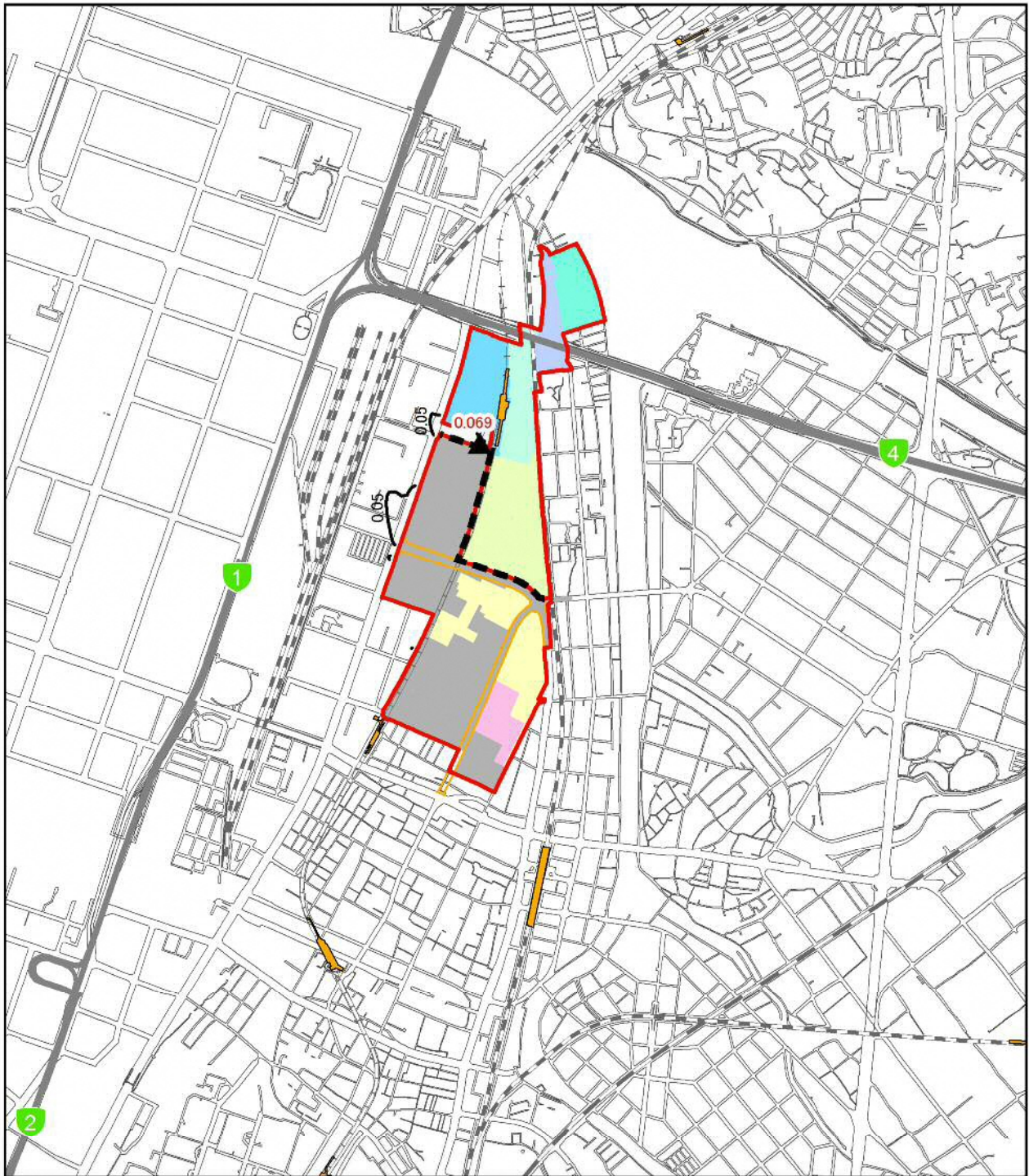


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 S 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(5) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 S 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

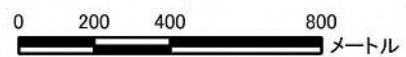
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

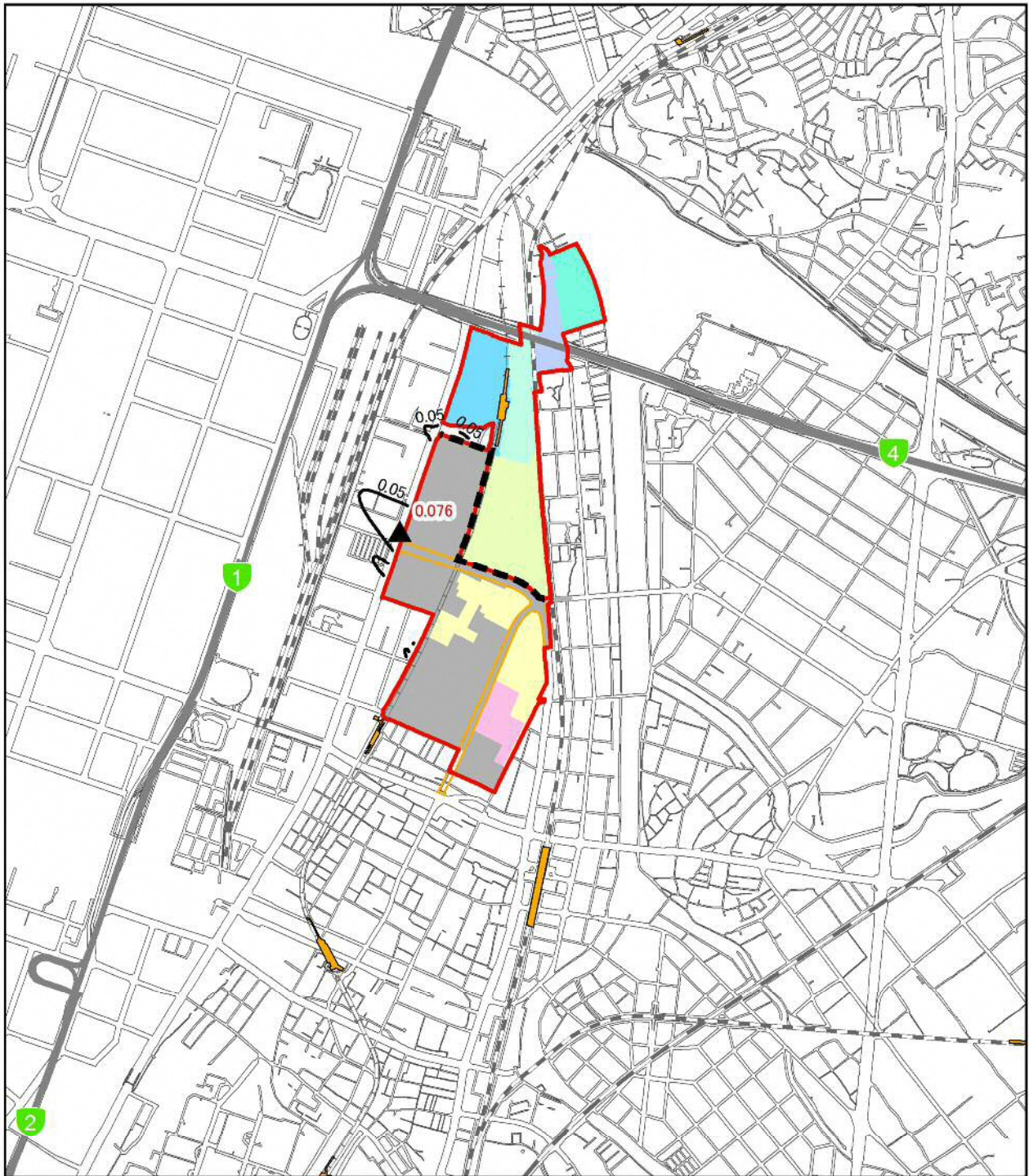


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 SSE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(6) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 SSE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

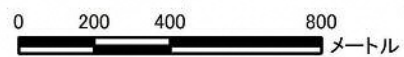
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

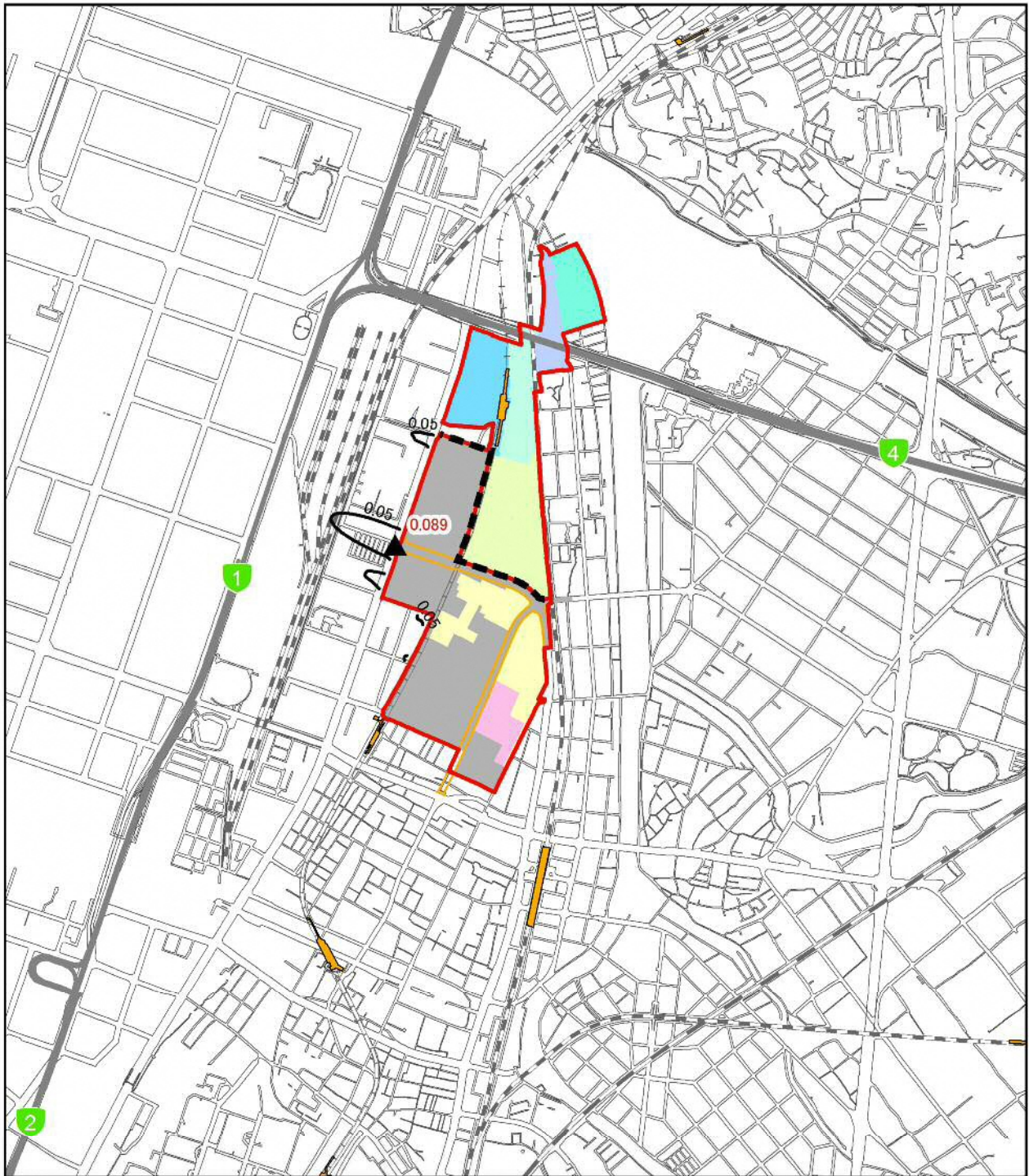


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 SE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(7) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 SE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

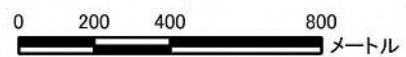
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

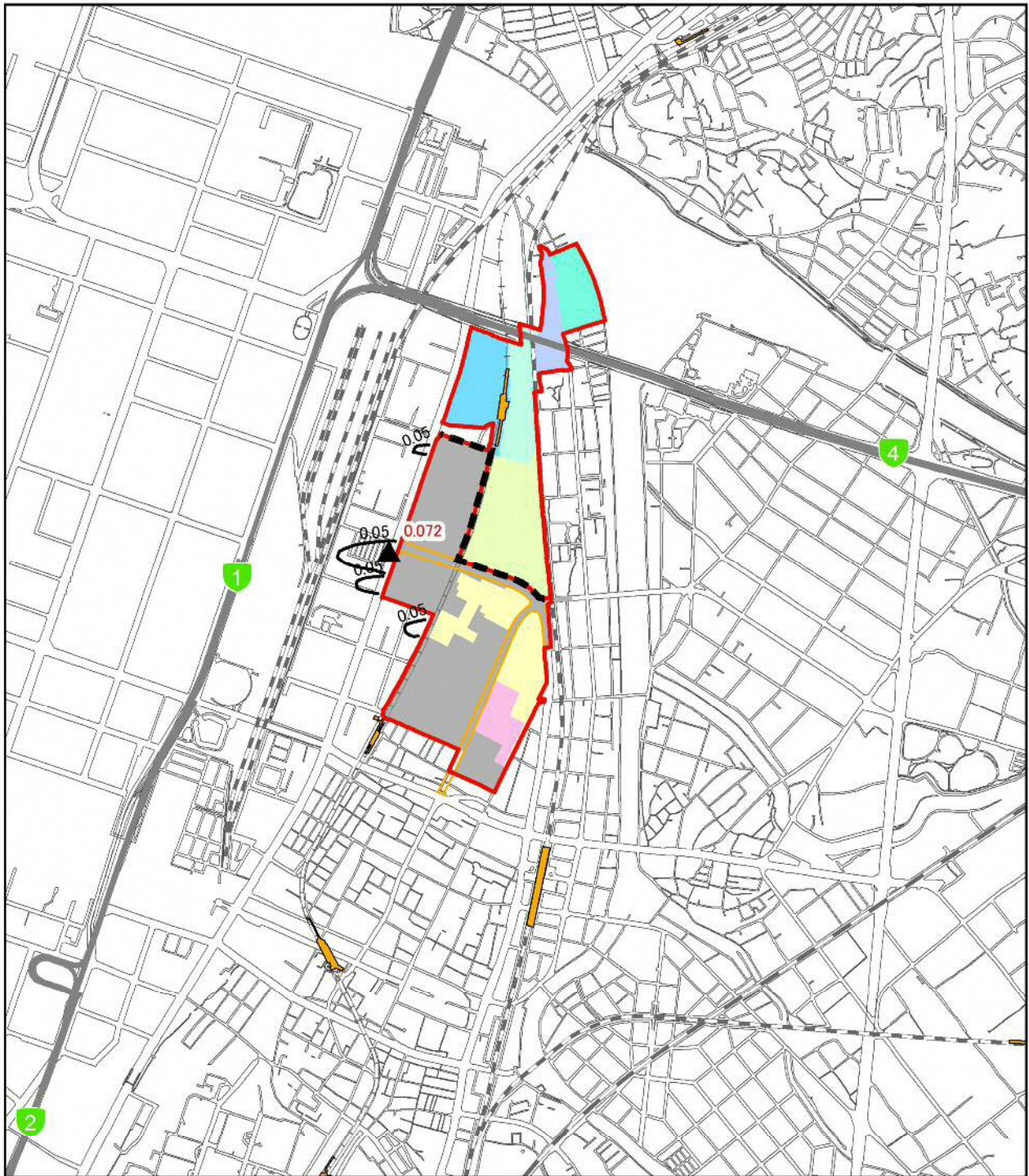


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 ESE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.033ppm である。

図 1-3(8) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 ESE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

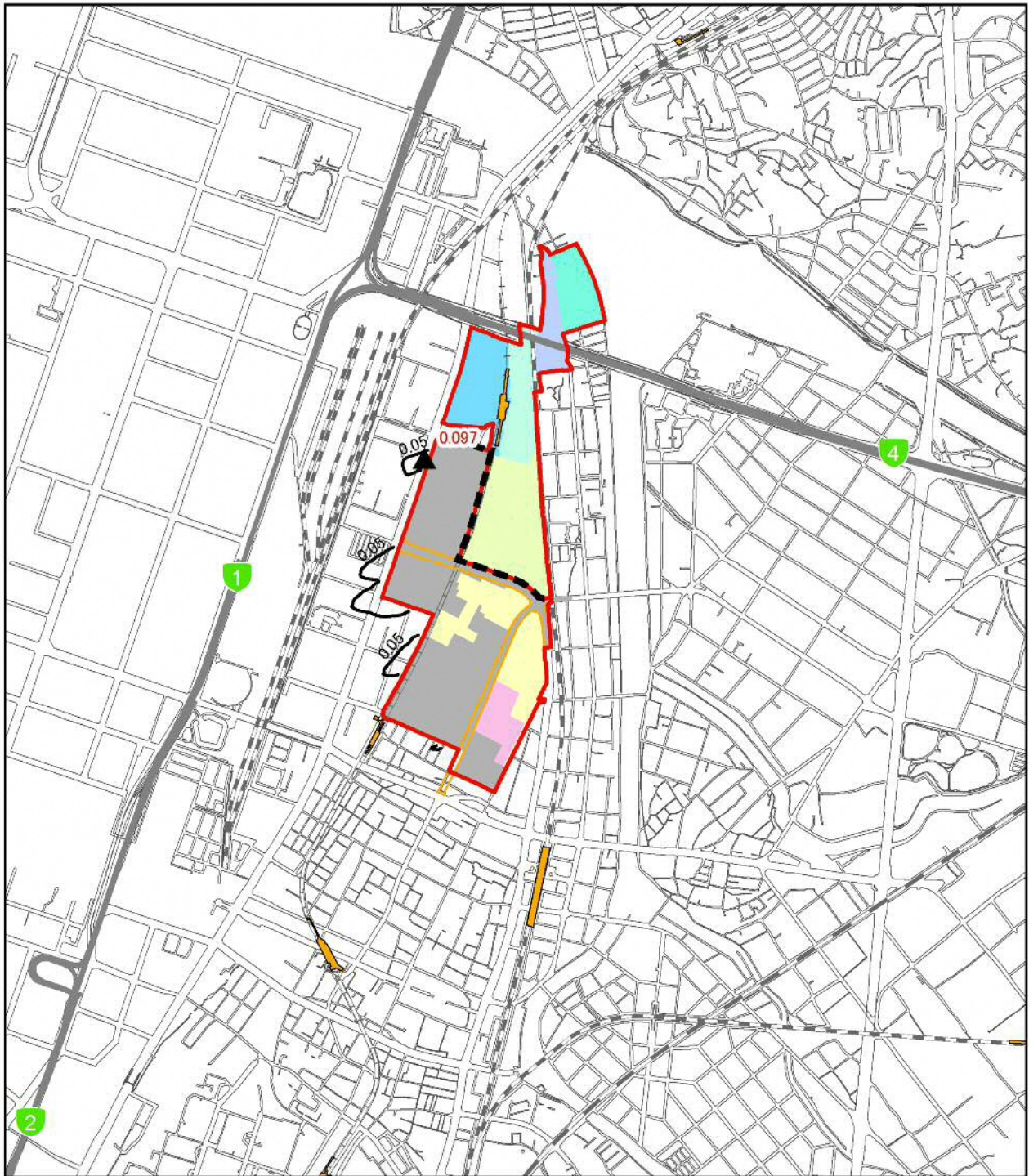


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 E 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3 (9) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 E 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

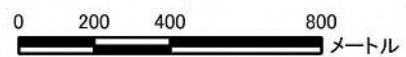
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

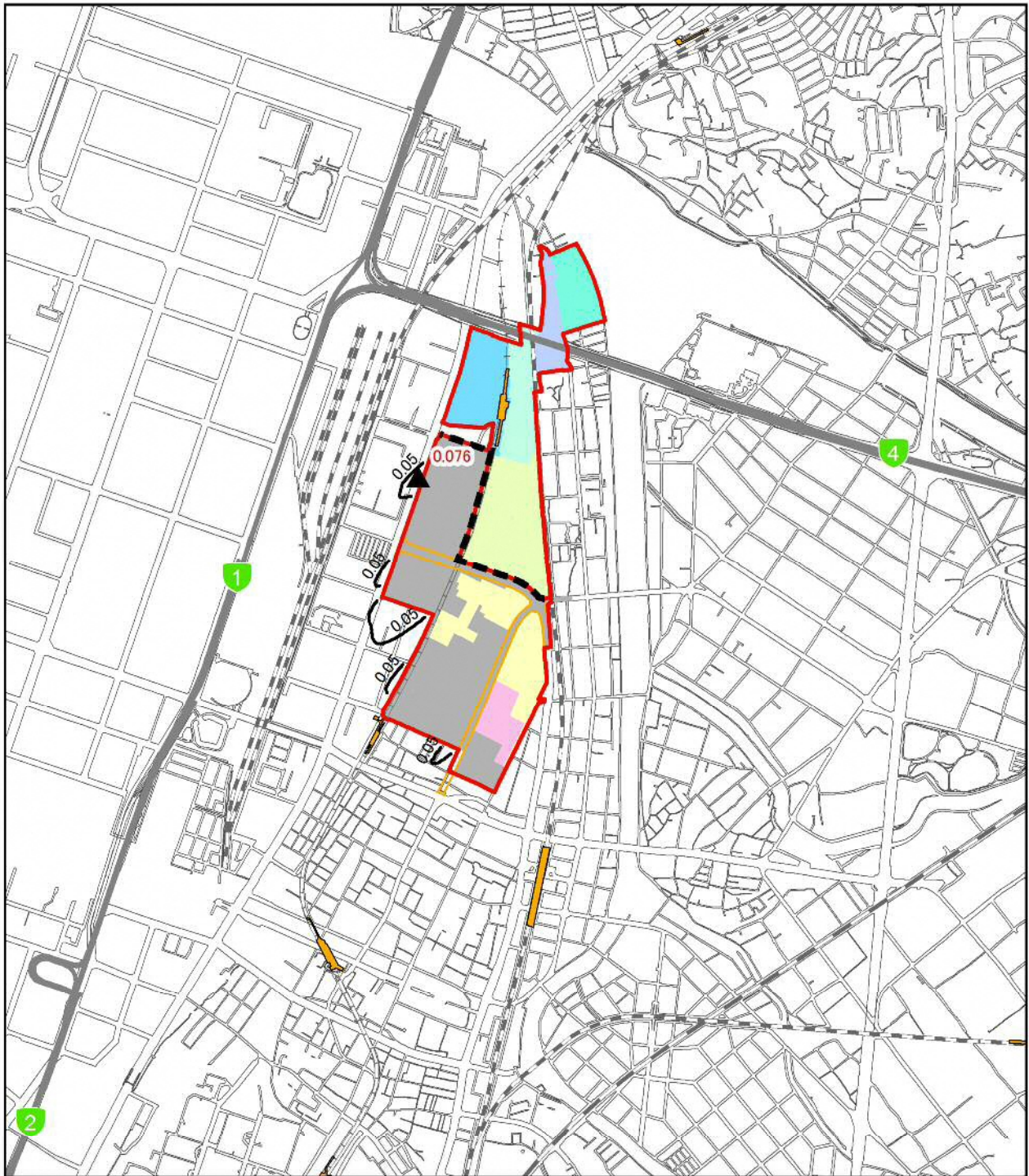


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 ENE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(10) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 ENE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

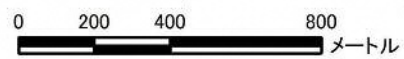
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

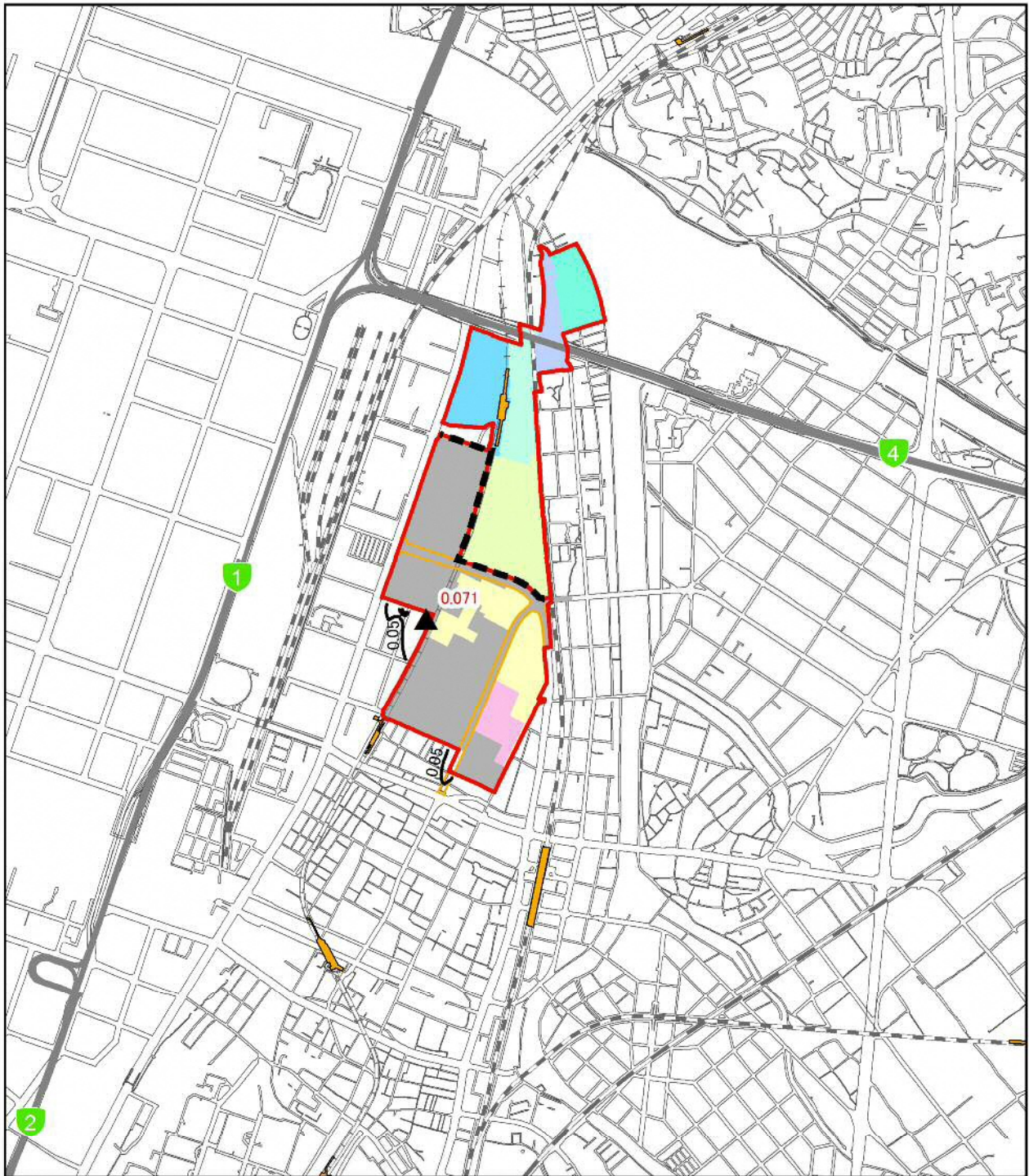


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 NE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(11) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 NE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

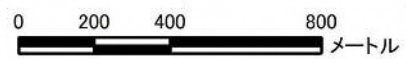
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

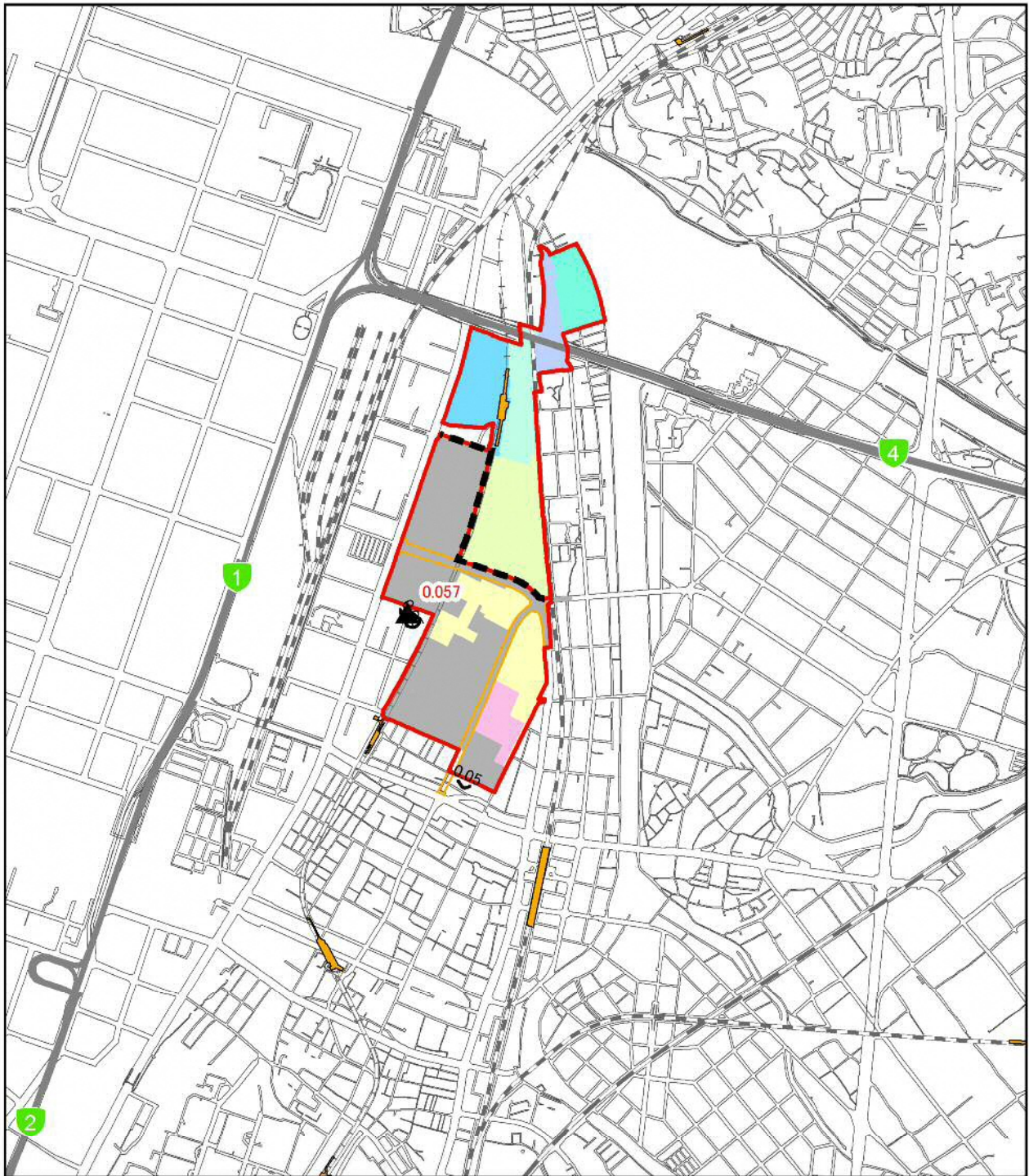


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 NNE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(12) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果 (1 時間値): 風向 NNE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

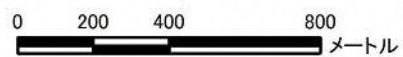
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

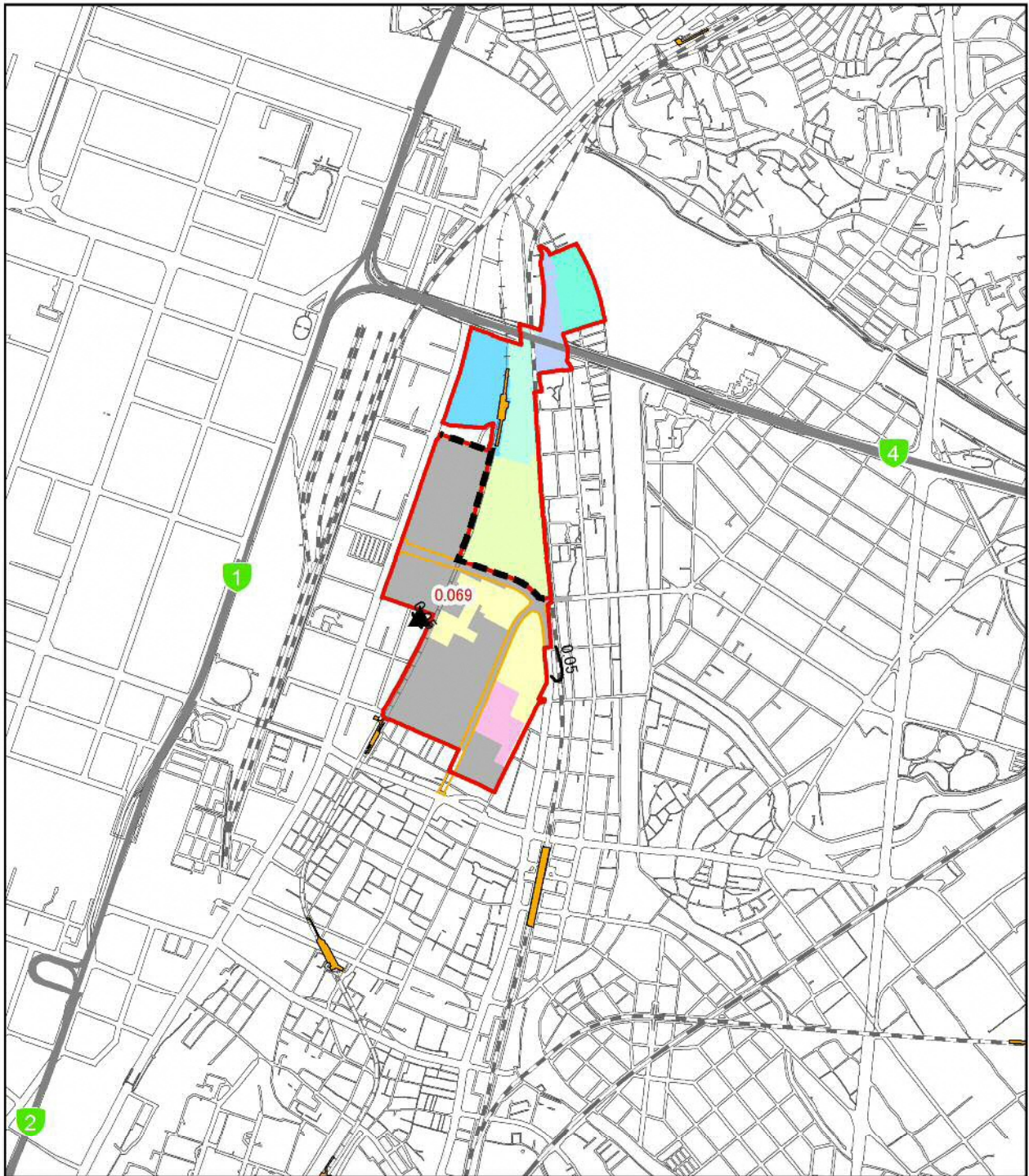


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 N 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.033ppm である。

図 1-3(13) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果 (1 時間値): 風向 N 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

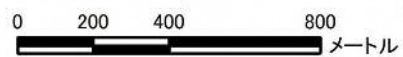
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

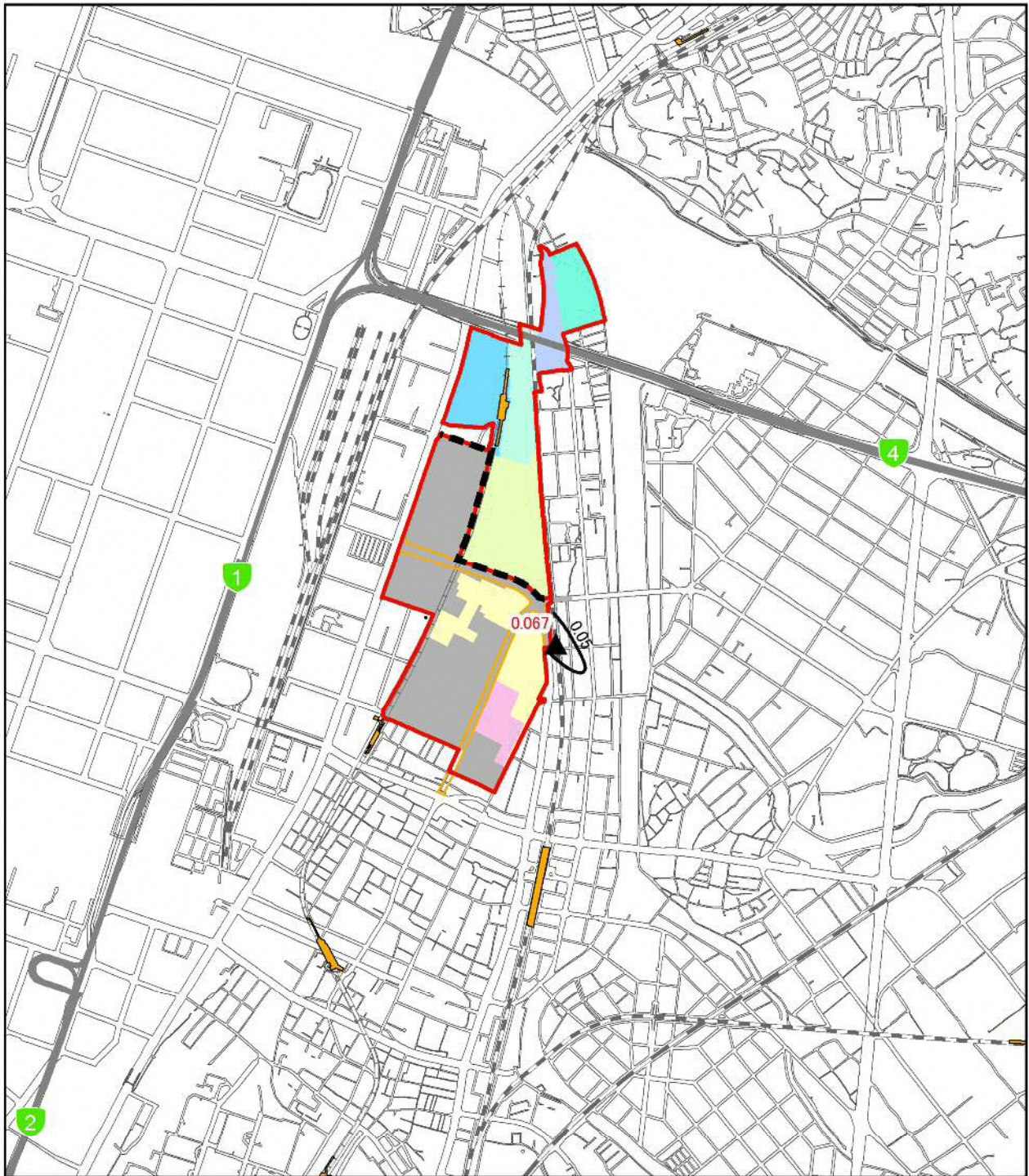


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 NNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(14) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果 (1時間値): 風向 NNW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

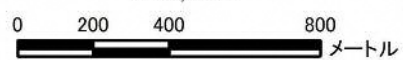
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

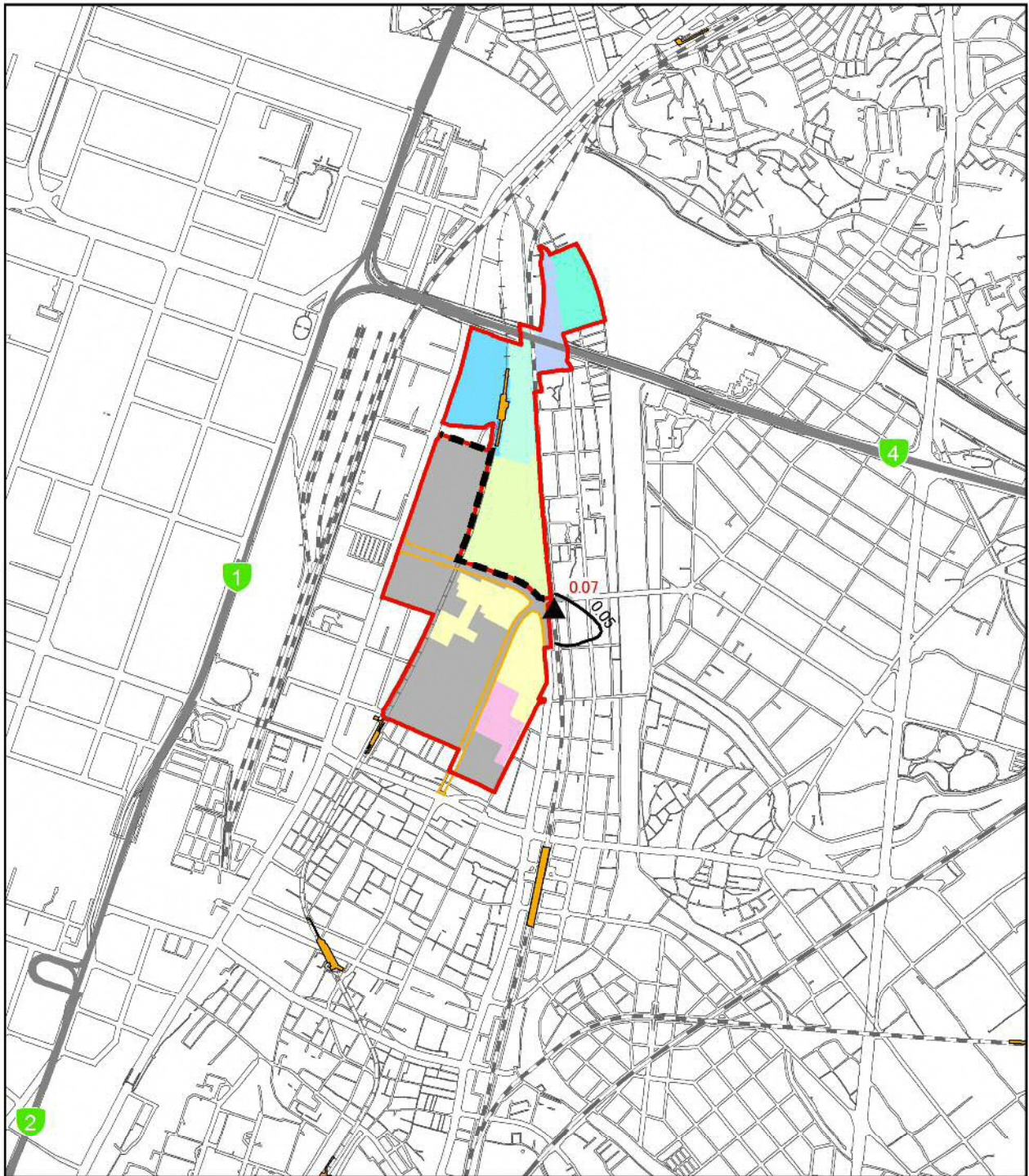


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 NW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(15) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 NW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

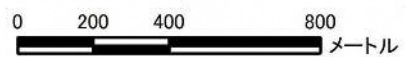
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

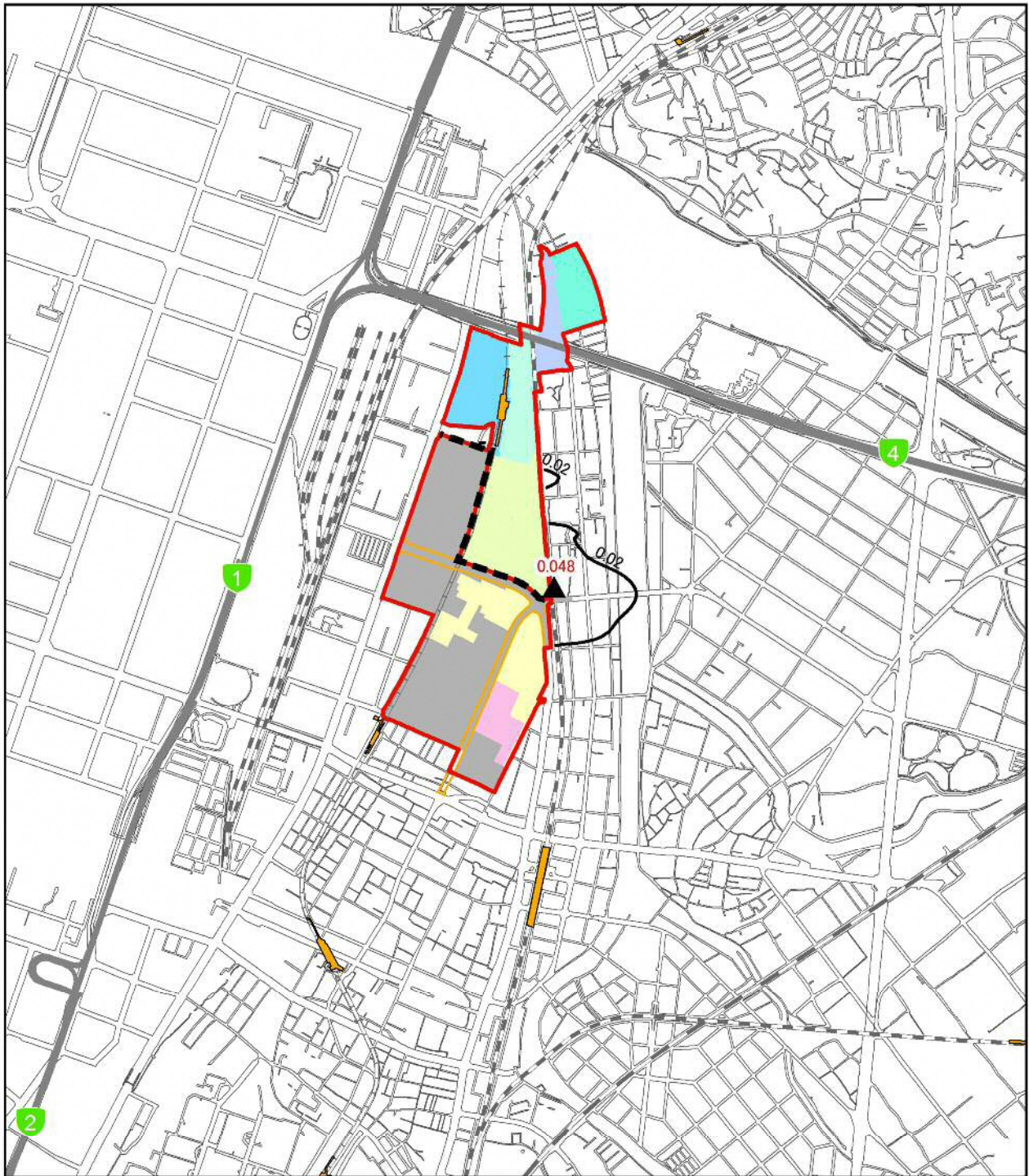


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 WNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(16) 工事の実施（造成工事の実施）による二酸化窒素（付加濃度）の予測結果  
（1時間値）：風向 WNW 大気安定度 D（環境保全措置実施後）





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

0 200 400 800メートル

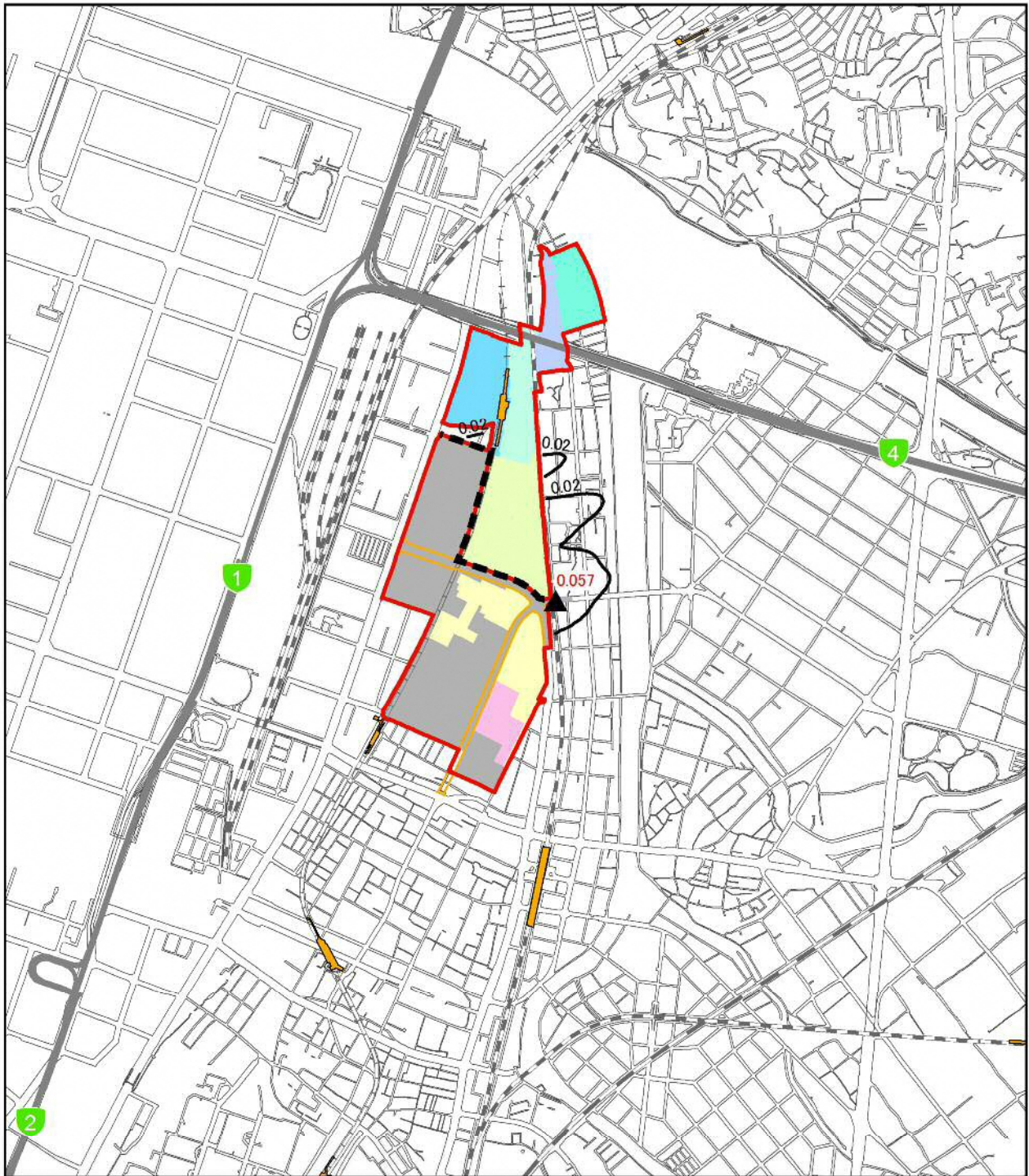


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 W 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-4 (1) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 W 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

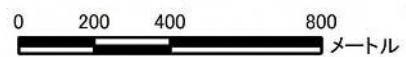
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

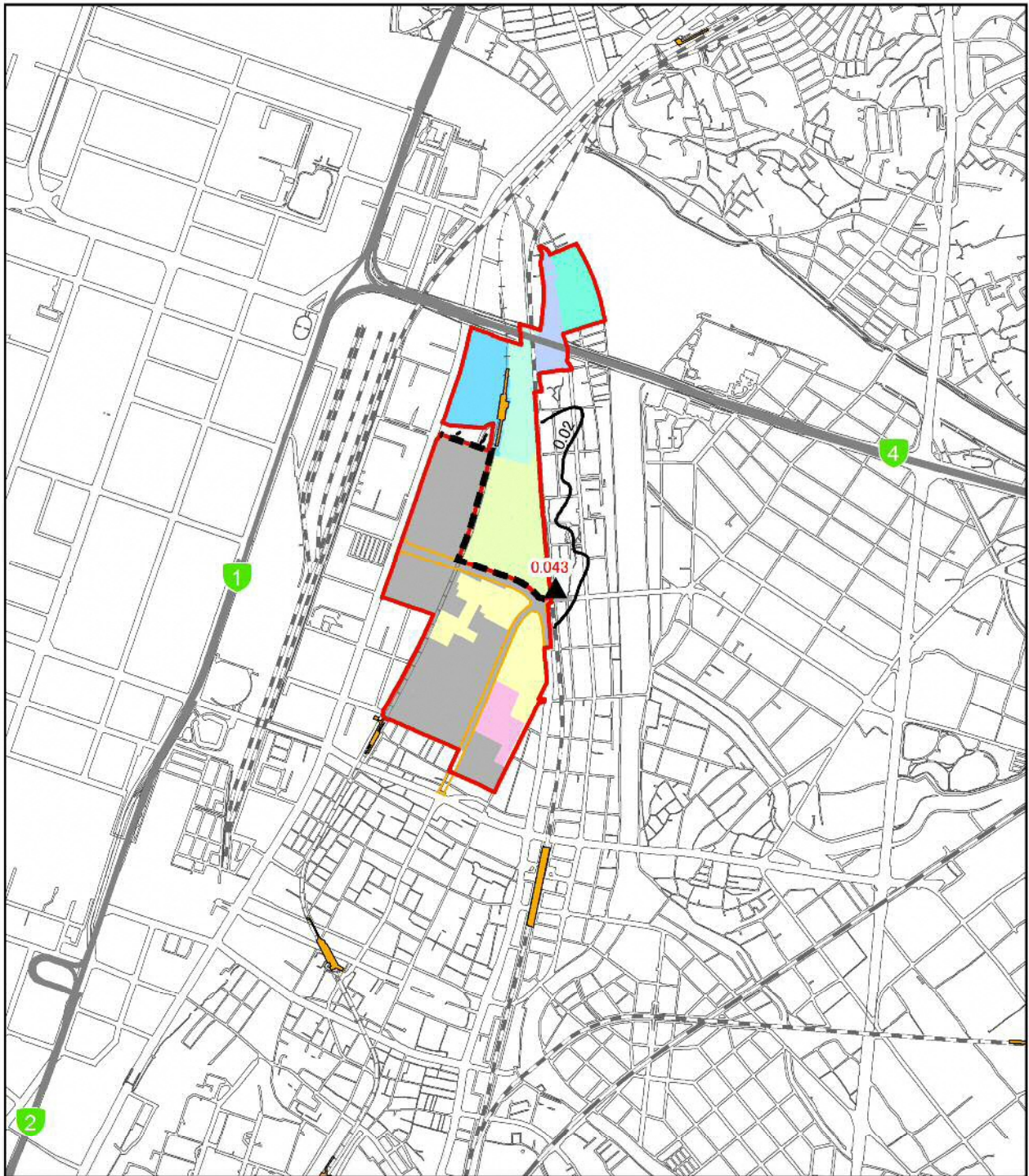


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 WSW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-4(2) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 WSW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

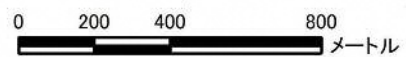
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

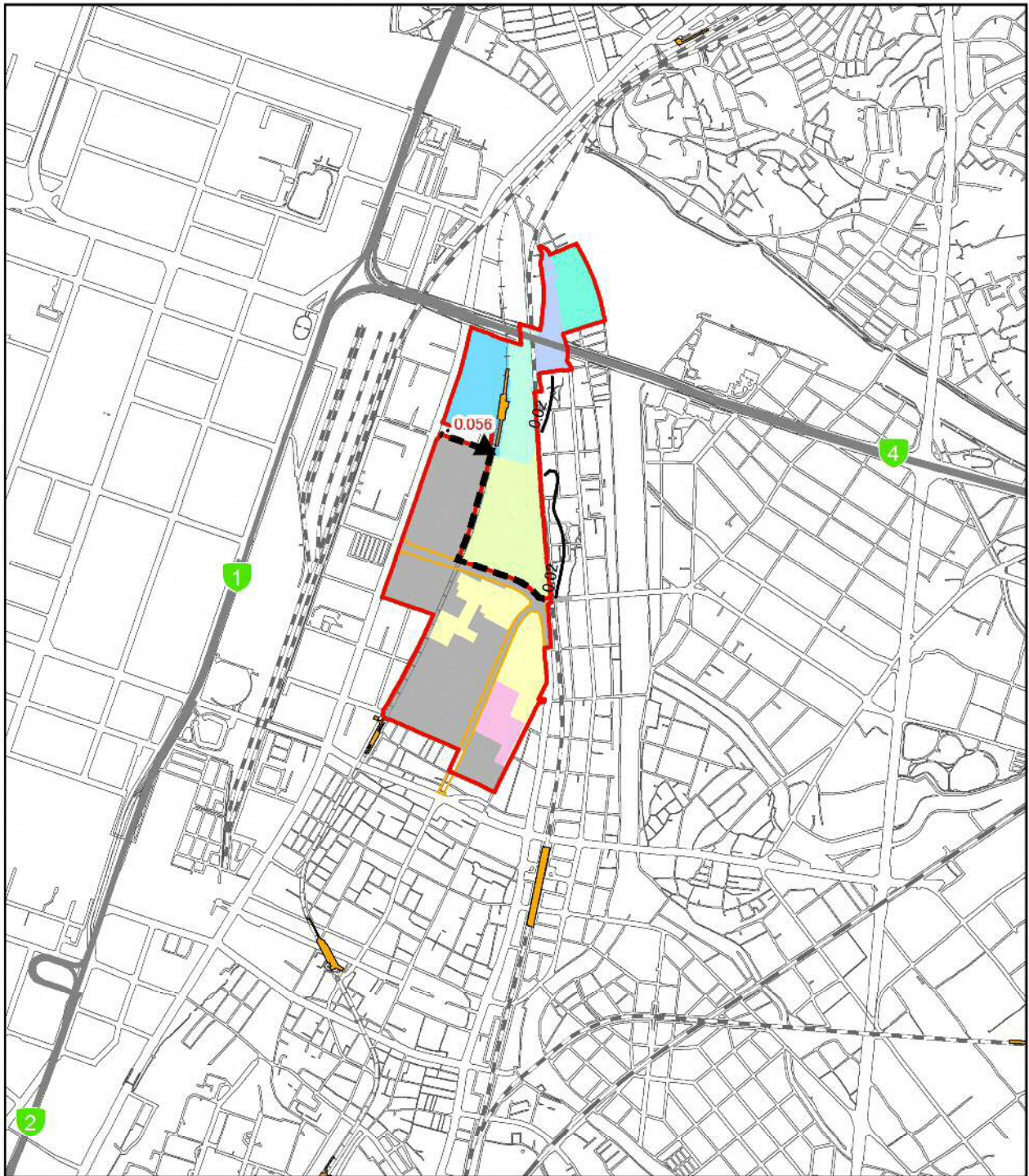


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 SW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-4 (3) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 SW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

0 200 400 800メートル

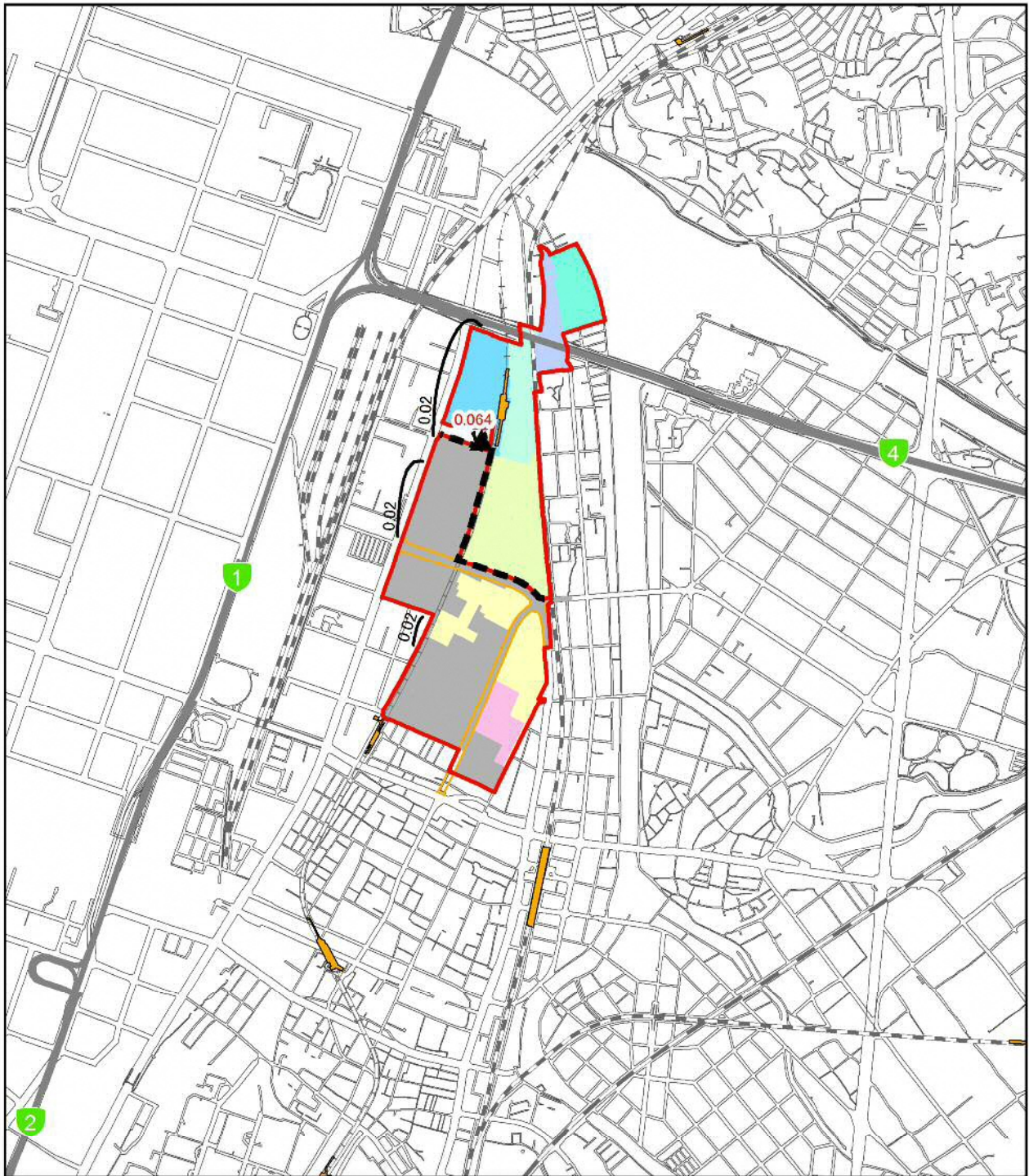


▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)  
 — 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 SSW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
 バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-4 (4) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
 (1 時間値): 風向 SSW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

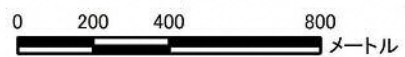
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

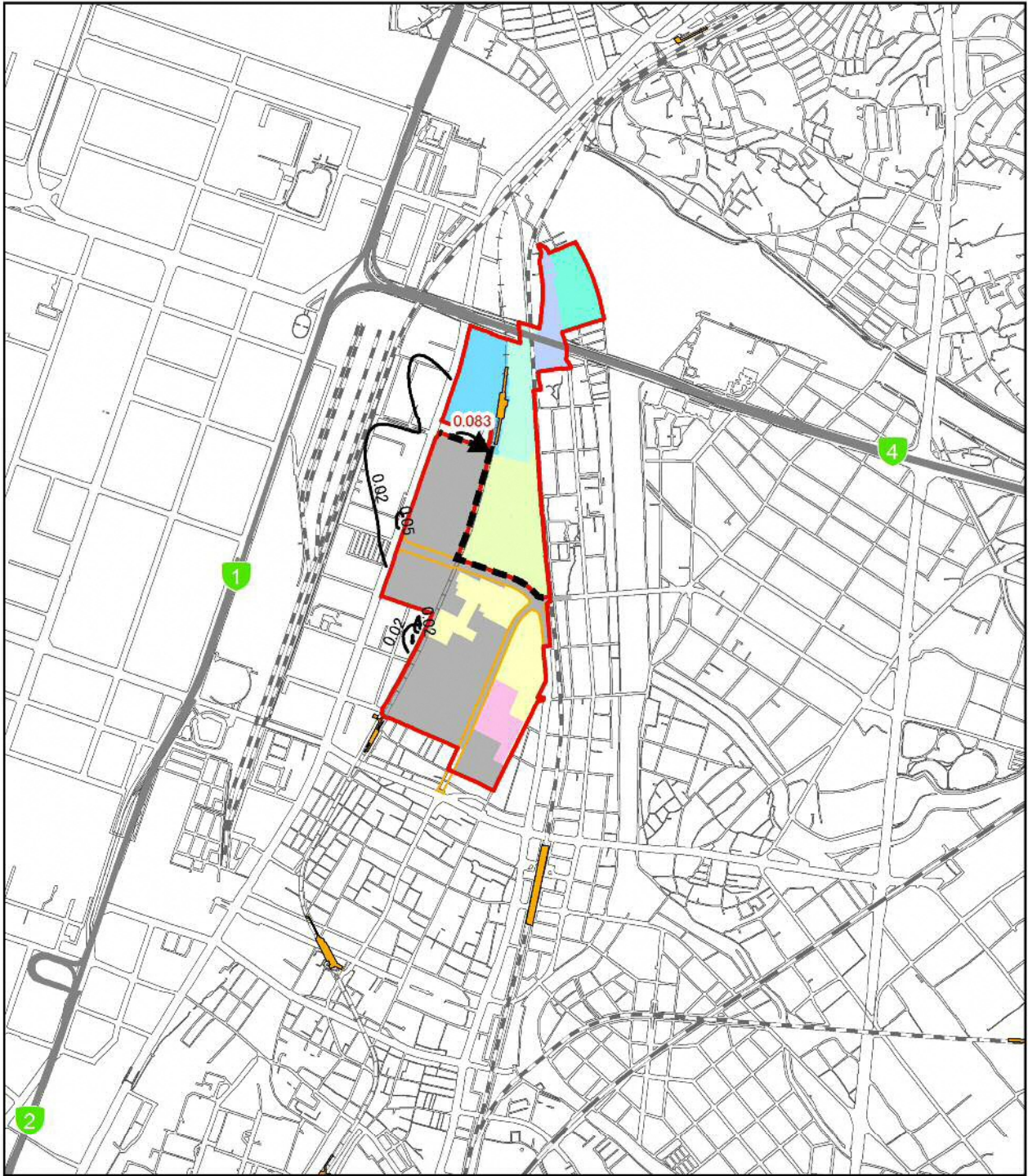


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 S 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-4 (5) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 S 大気安定度 D (環境保全措置実施後)

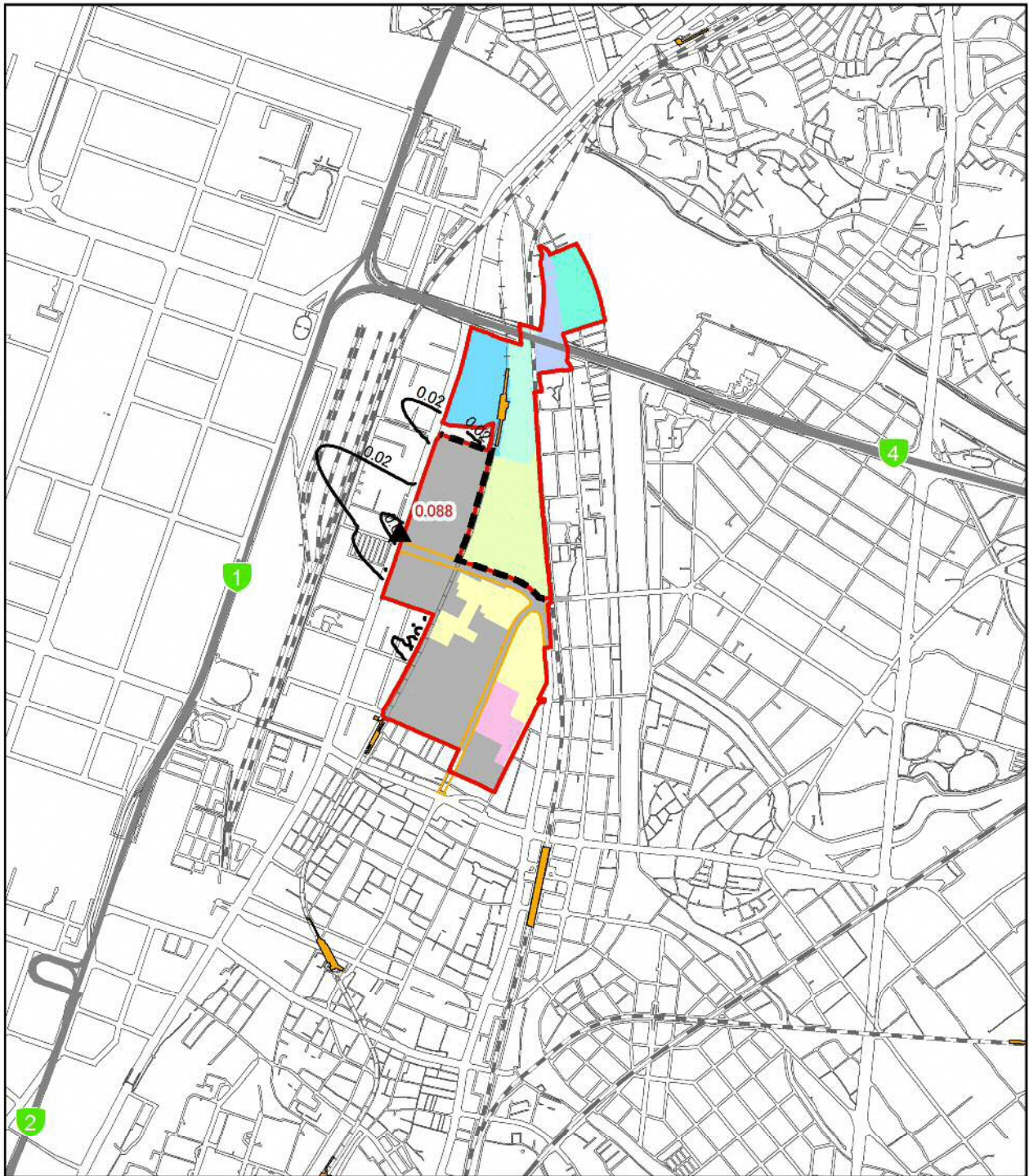




<b>凡例</b> 事業実施区域 北エリア・南エリア境界 福岡都市高速 都市計画道路(関連事業) 駅 JR 新幹線 私鉄 地下鉄		<b>工区割り</b> 北1工区 北2工区 北3工区 北4工区 北5工区 南3工区 近代建築物活用ゾーン <b>施工区域</b> 2021年度		1:20,000  0 200 400 800メートル 
		▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度) — 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m³): 風向 SSE 大気安定度 D		
		数値は、建設機械稼働分の濃度である。 バックグラウンド濃度は 0.035mg/m³ である。		

図 1-4 (6) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果 (1 時間値): 風向 SSE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

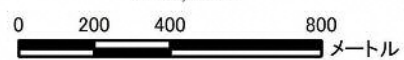
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

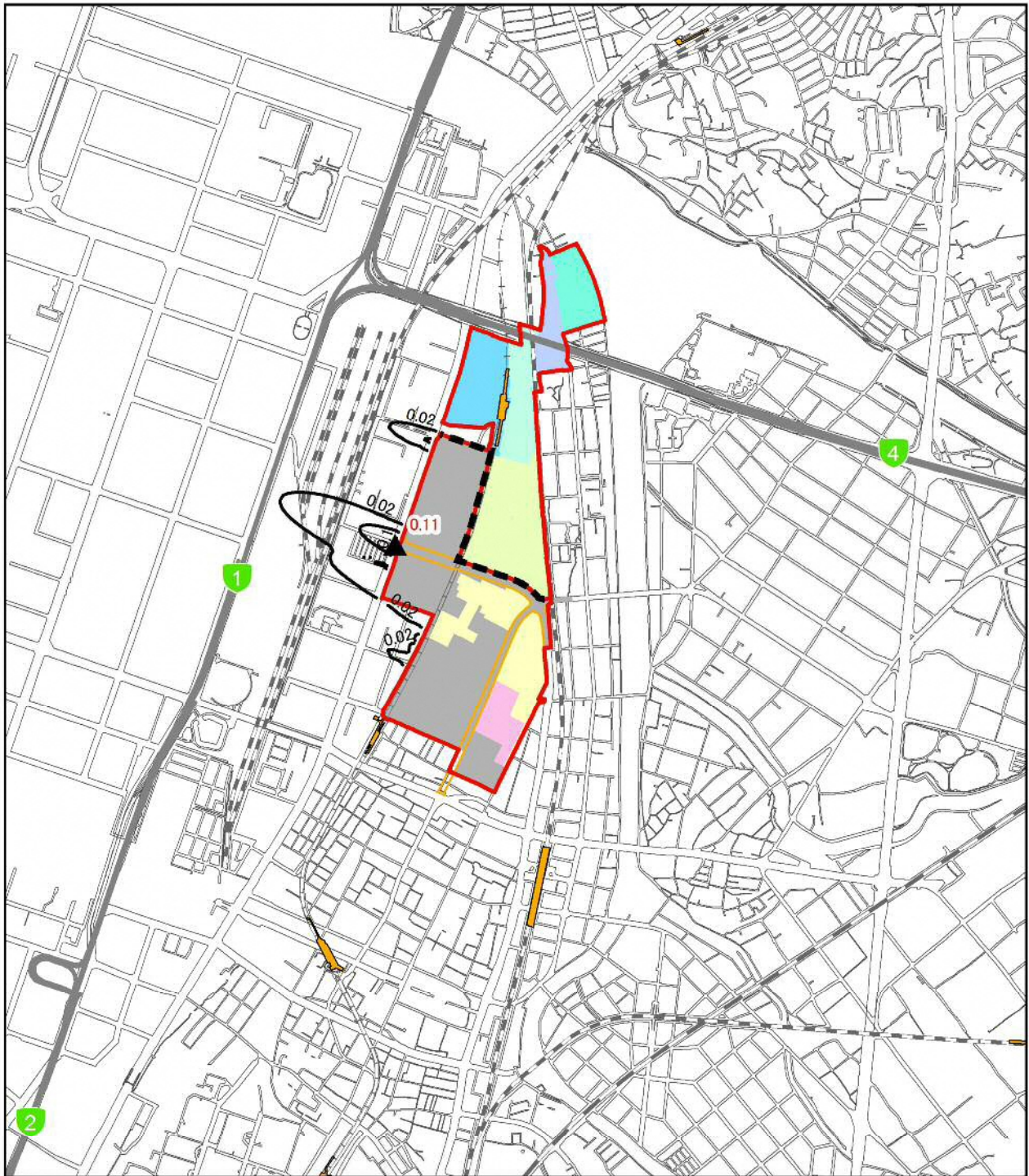


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 SE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-4(7) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値): 風向 SE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路 (関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

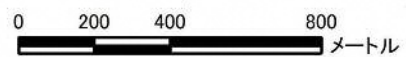
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

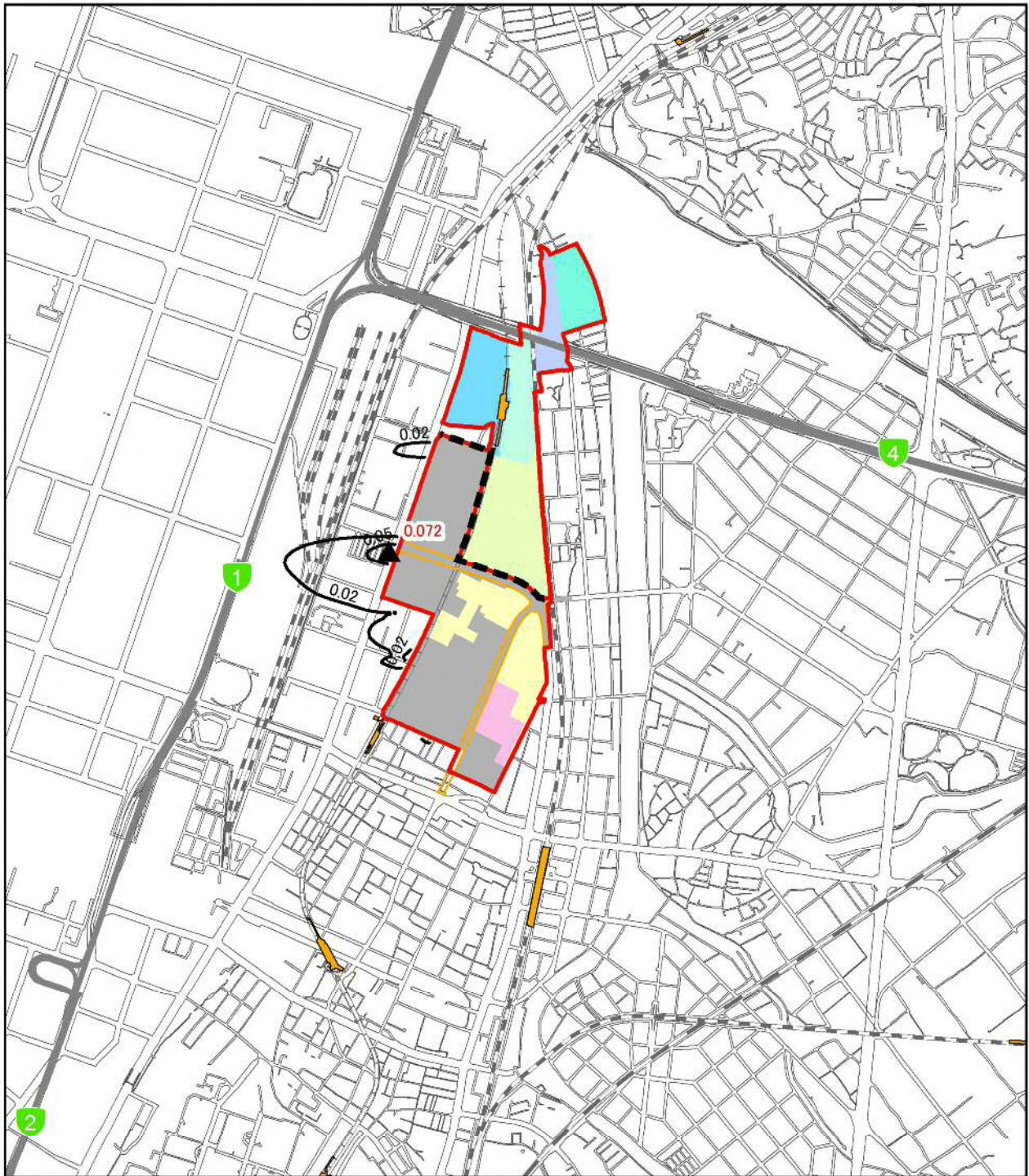


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 ESE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-4(8) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 ESE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

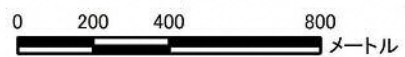
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

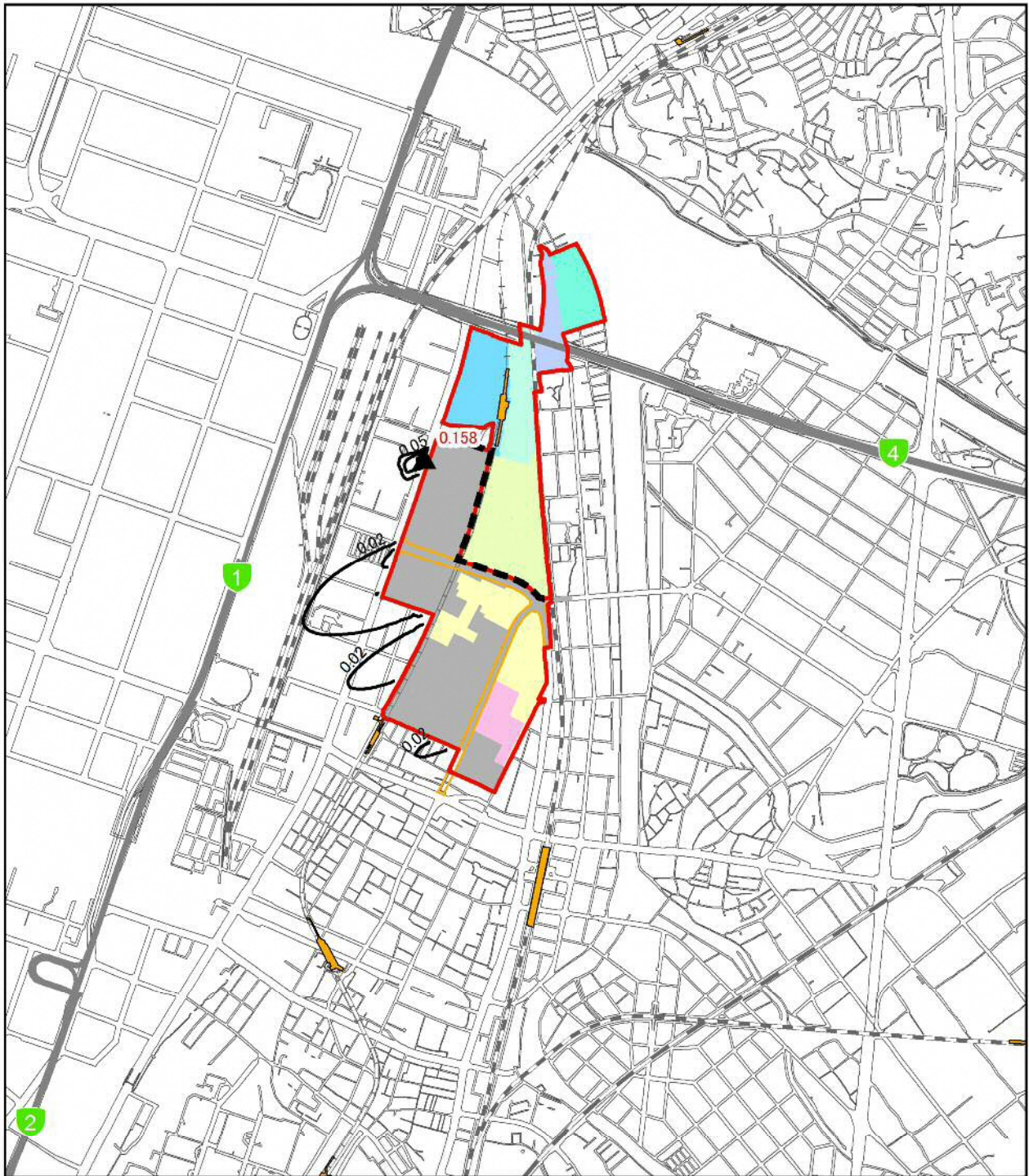


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 E 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-4 (9) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 E 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

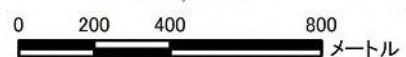
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

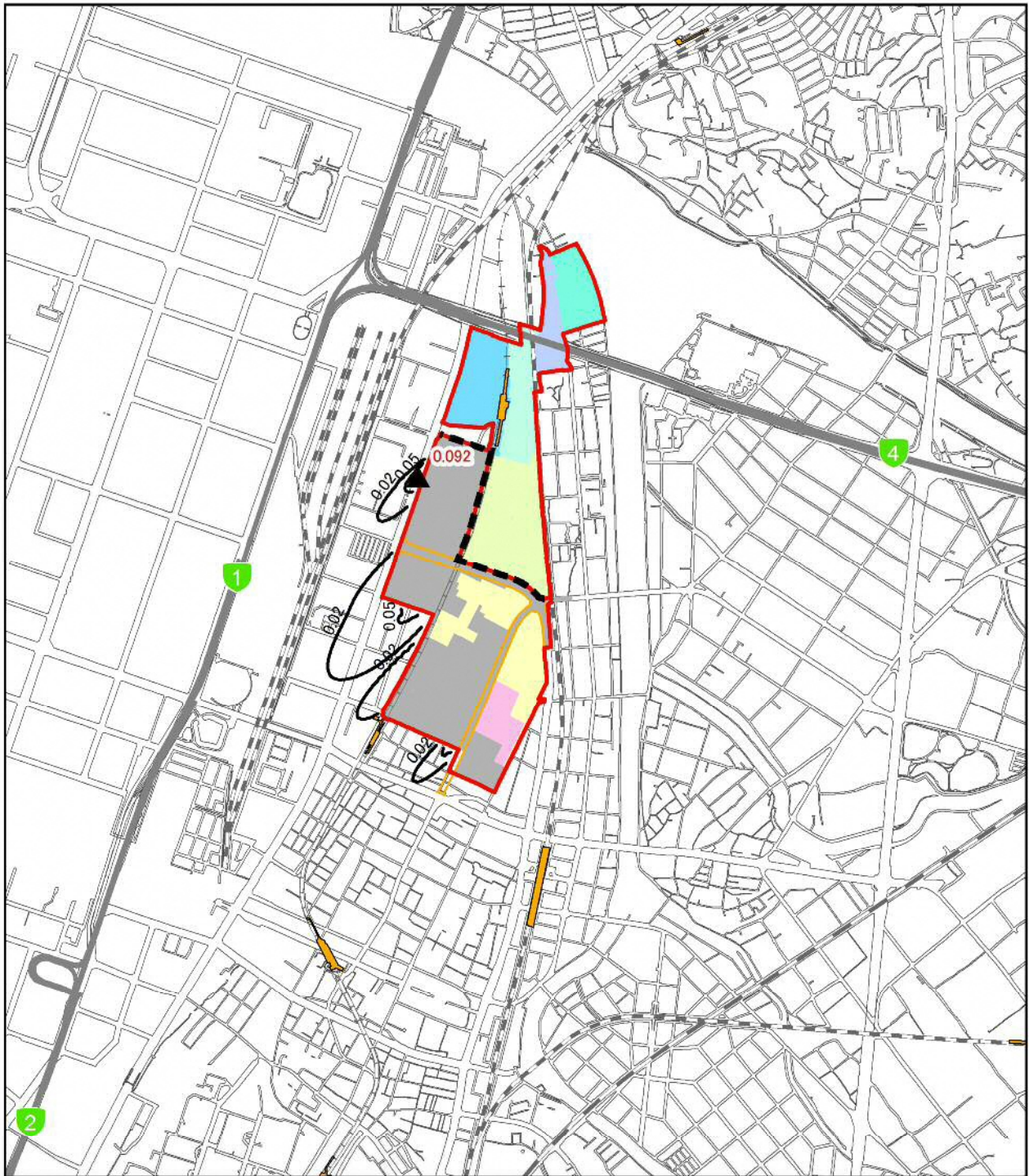


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 ENE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-4(10) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 ENE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

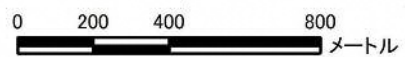
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

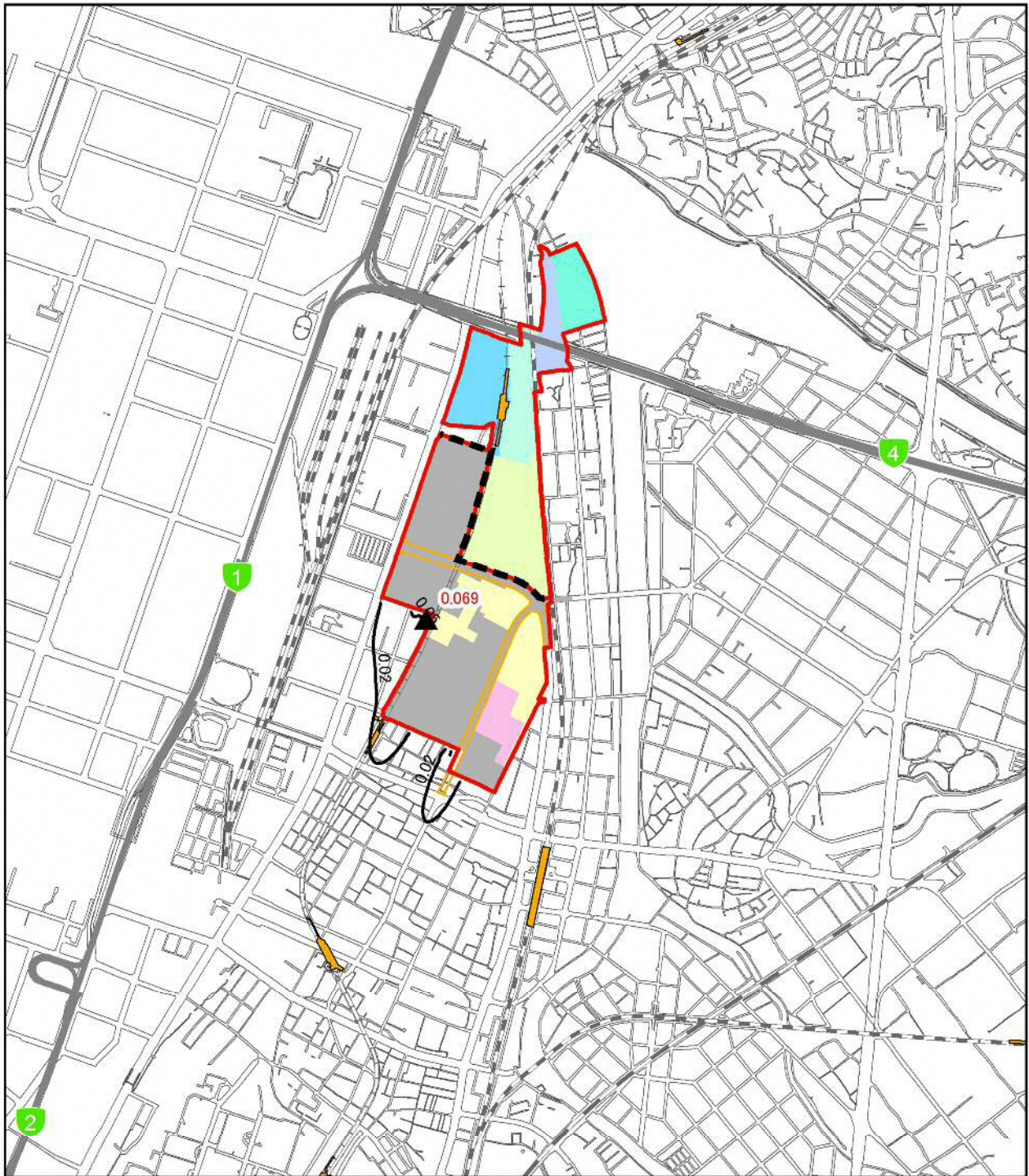


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 NE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-4(11) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果 (1 時間値): 風向 NE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

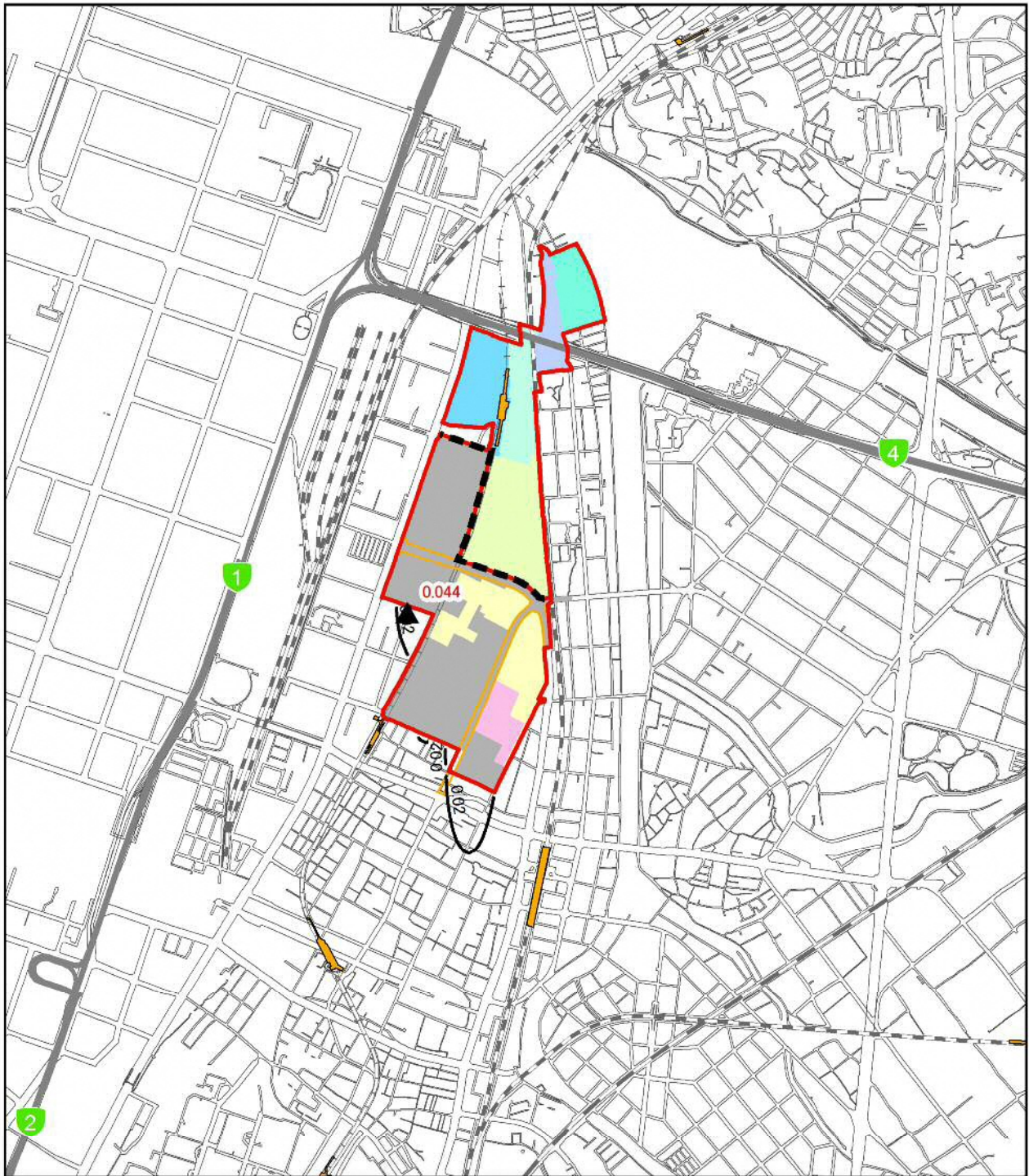


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 NNE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-4(12) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 NNE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

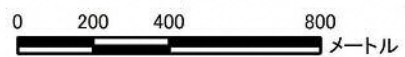
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

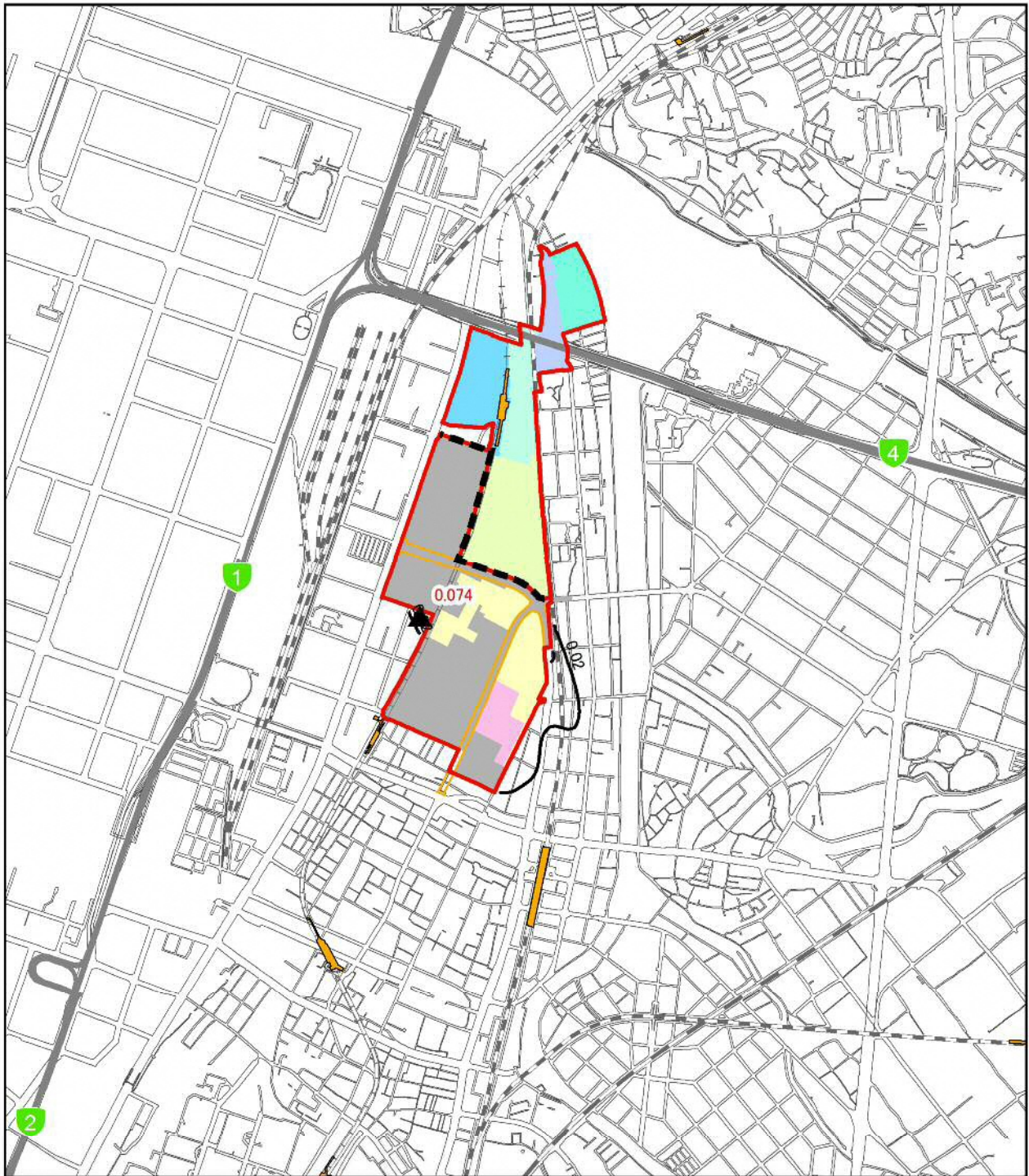


▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)  
 — 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 N 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
 バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-4 (13) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果 (1 時間値): 風向 N 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

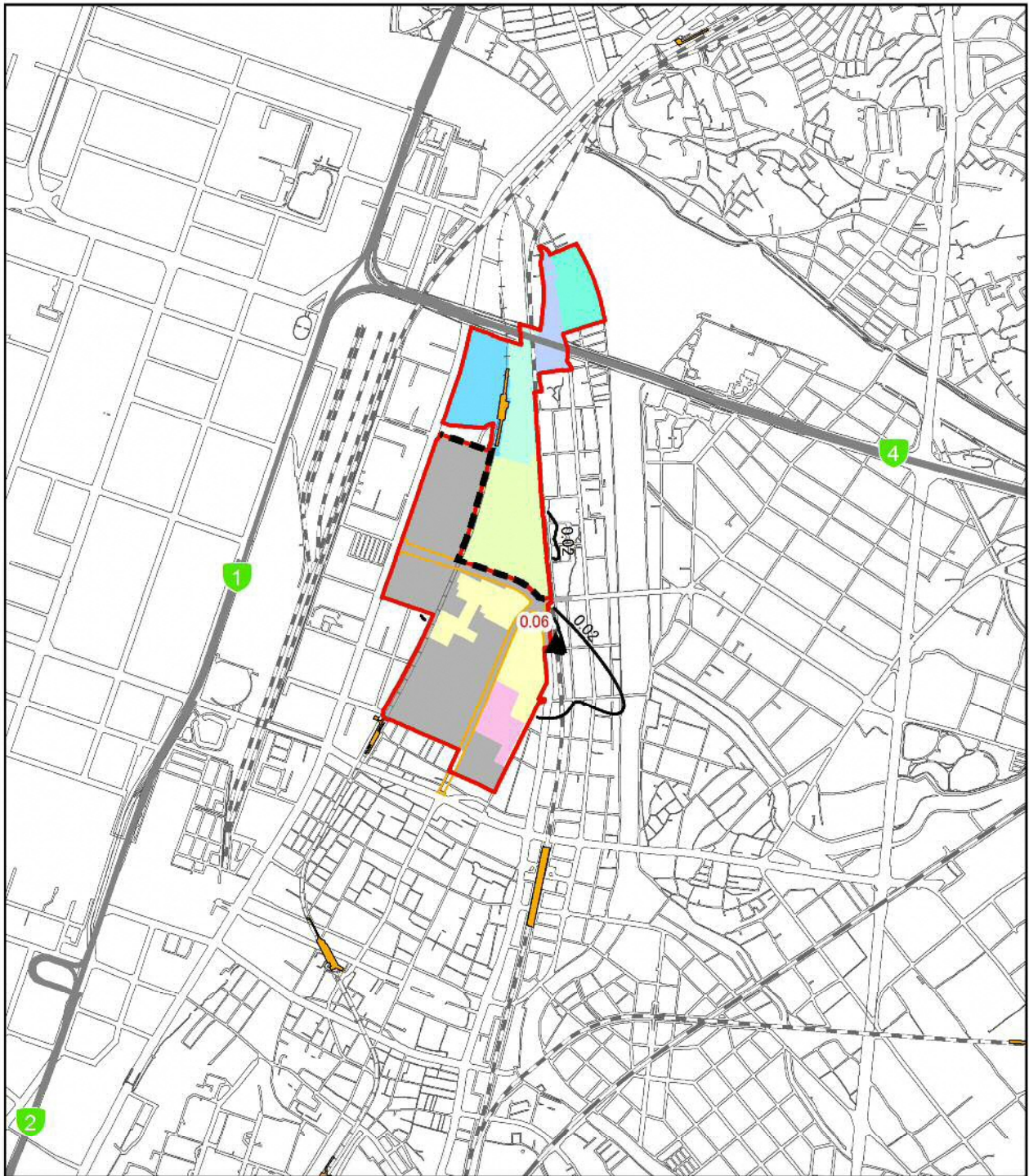


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 NNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-4(14) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 NNW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

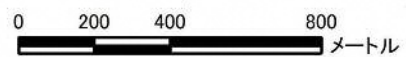
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

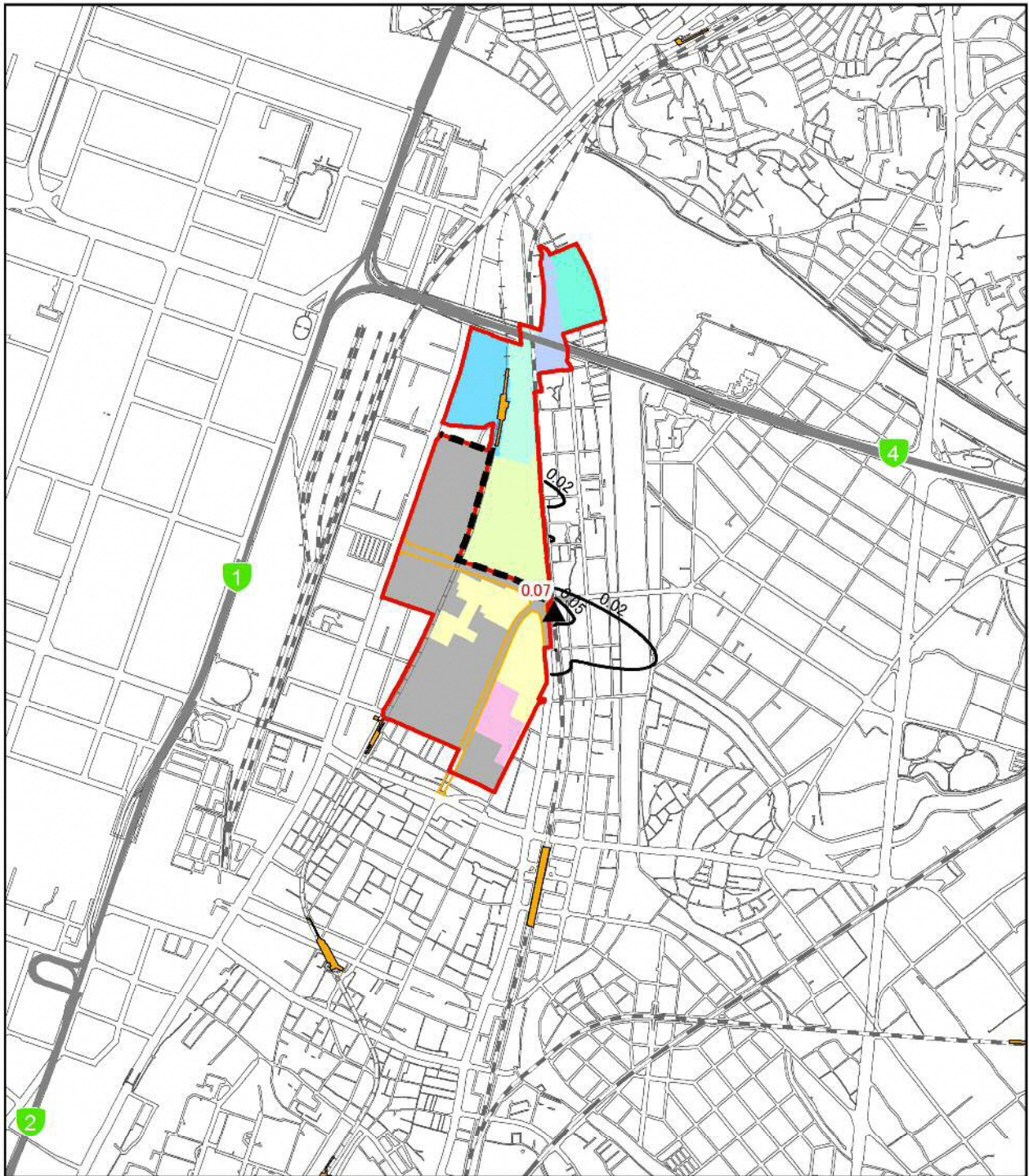


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 NW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-4(15) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果 (1 時間値): 風向 NW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

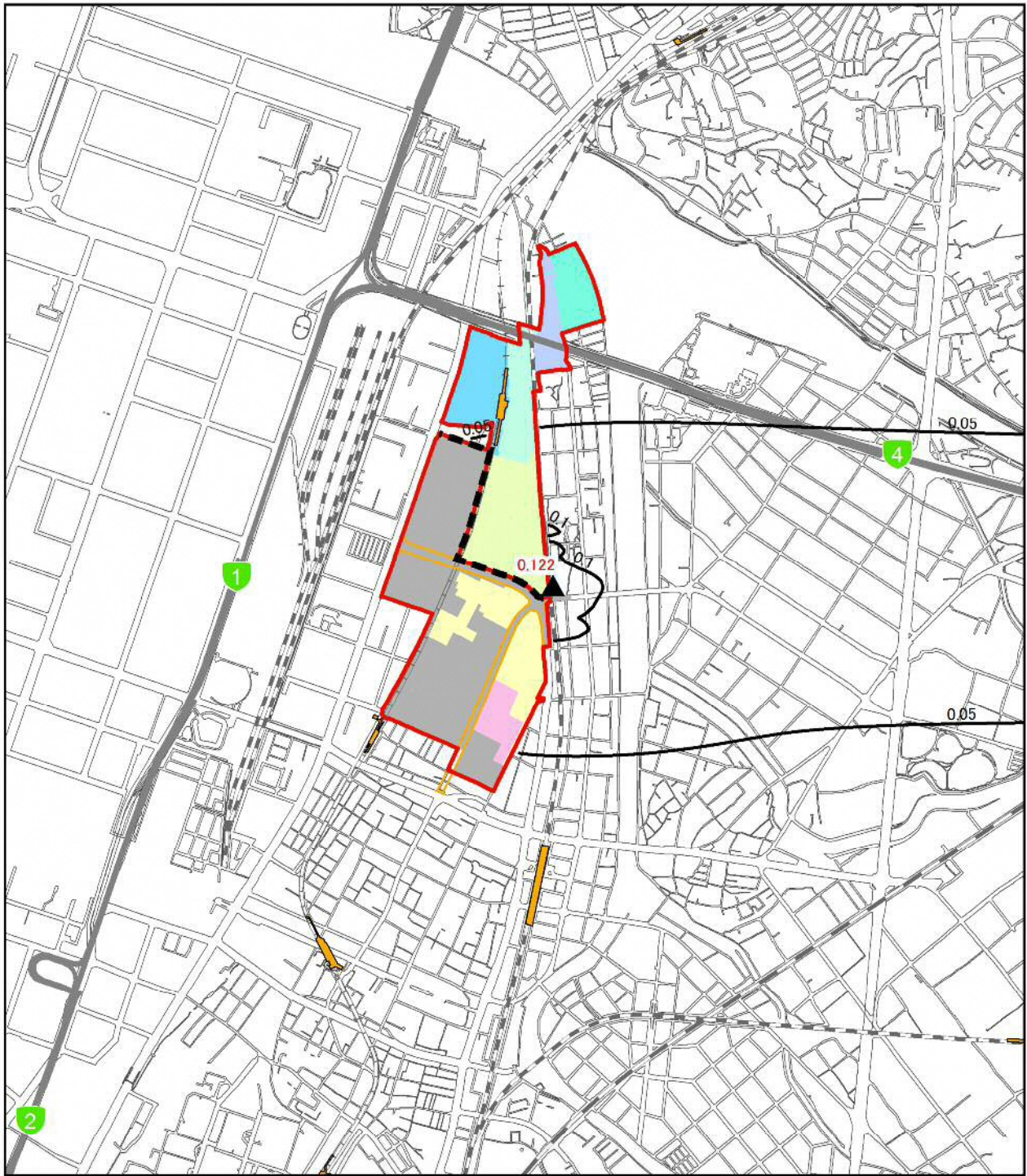


▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)  
 — 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m³): 風向 WNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
 バックグラウンド濃度は 0.035mg/m³ である。

図 1-4(16) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
 (1 時間値): 風向 WNW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

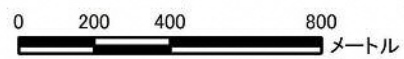
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

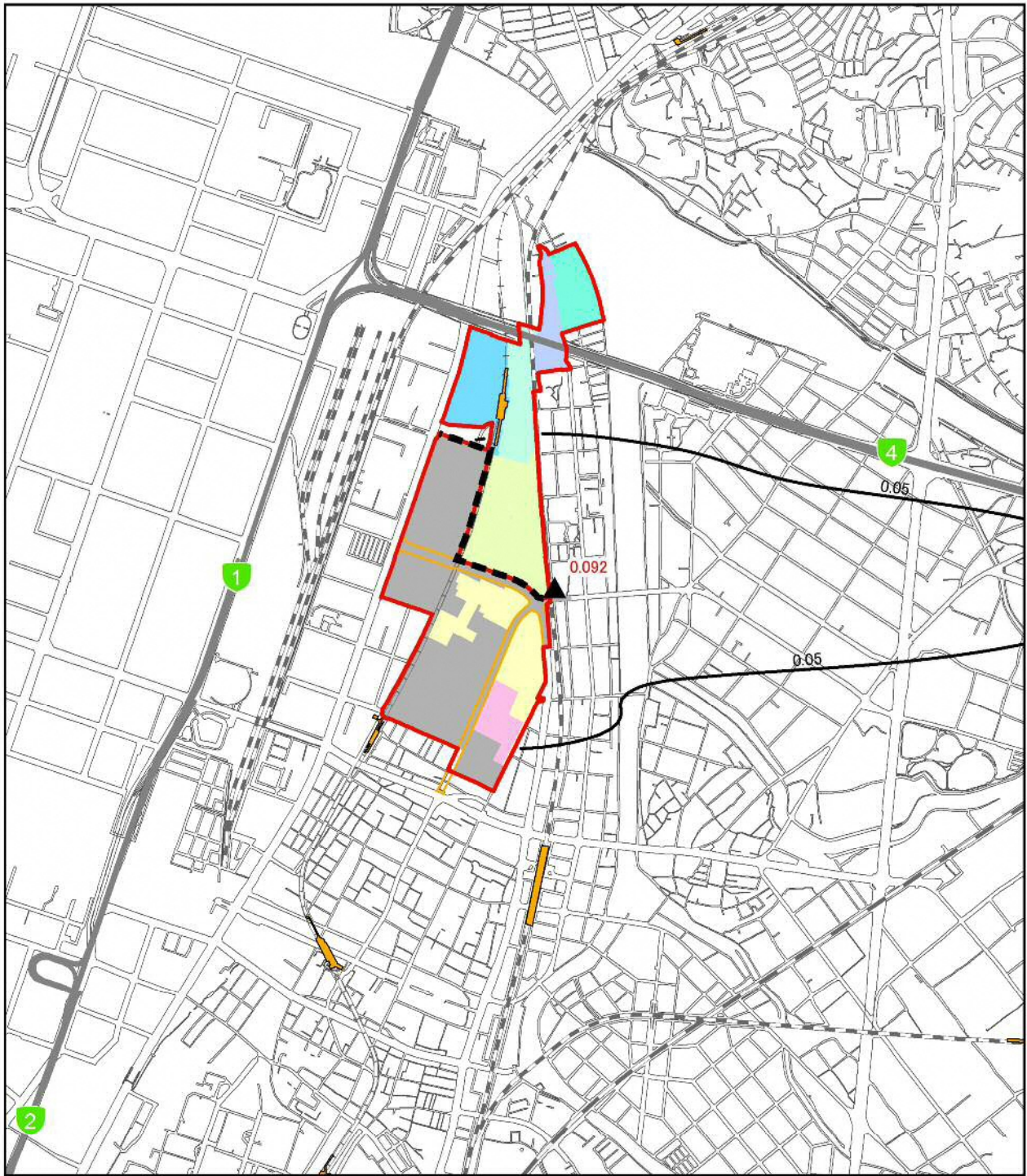


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 W 大気安定度 D

数値は、バックグラウンド濃度を含む。  
 指針値は、1時間値が0.1~0.2ppm以下

図 1-5(1) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果  
 (1時間値):風向 W 大気安定度 D (環境保全措置実施前)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

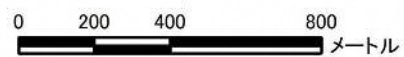
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

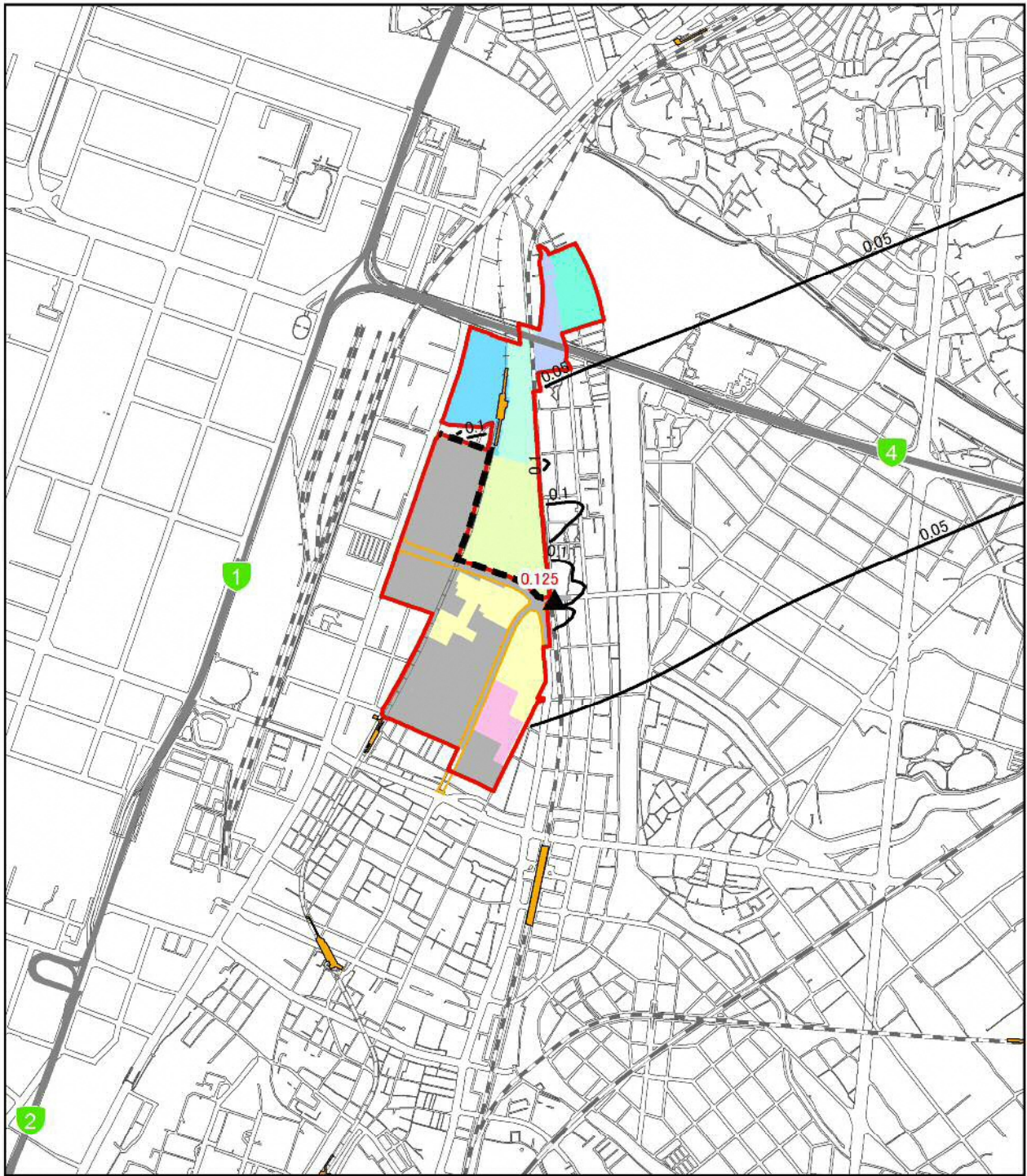


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 W 大気安定度 D

数値は、バックグラウンド濃度を含む。  
指針値は、1時間値が0.1~0.2ppm以下

図 1-5(2) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果  
(1時間値):風向 W 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

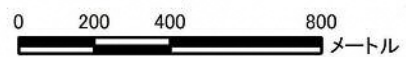
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

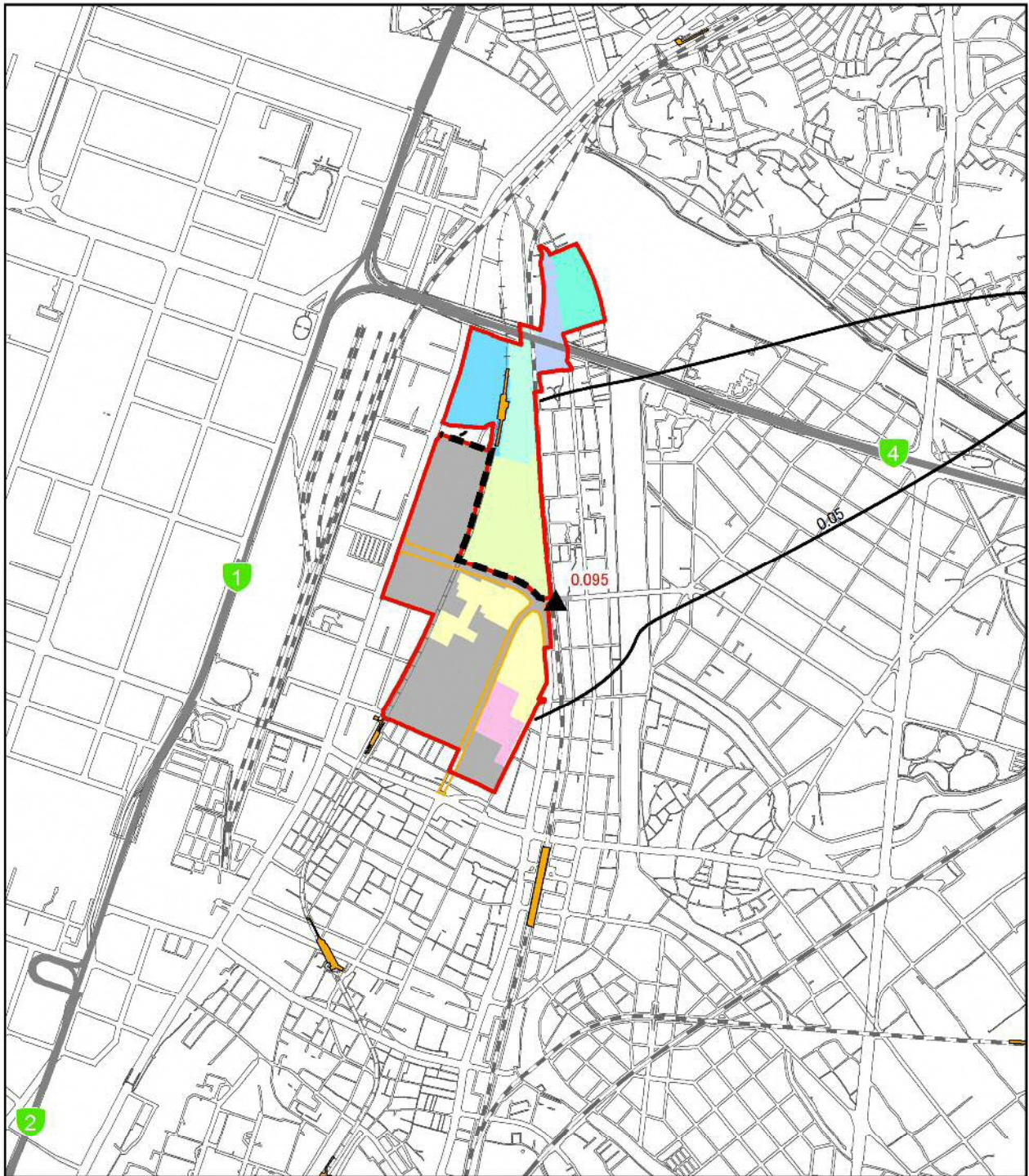


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 WSW 大気安定度 D

数値は、バックグラウンド濃度を含む。  
 指針値は、1時間値が0.1~0.2ppm以下

図 1-5(3) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果  
 (1時間値): 風向 WSW 大気安定度 D (環境保全措置実施前)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

0 200 400 800メートル

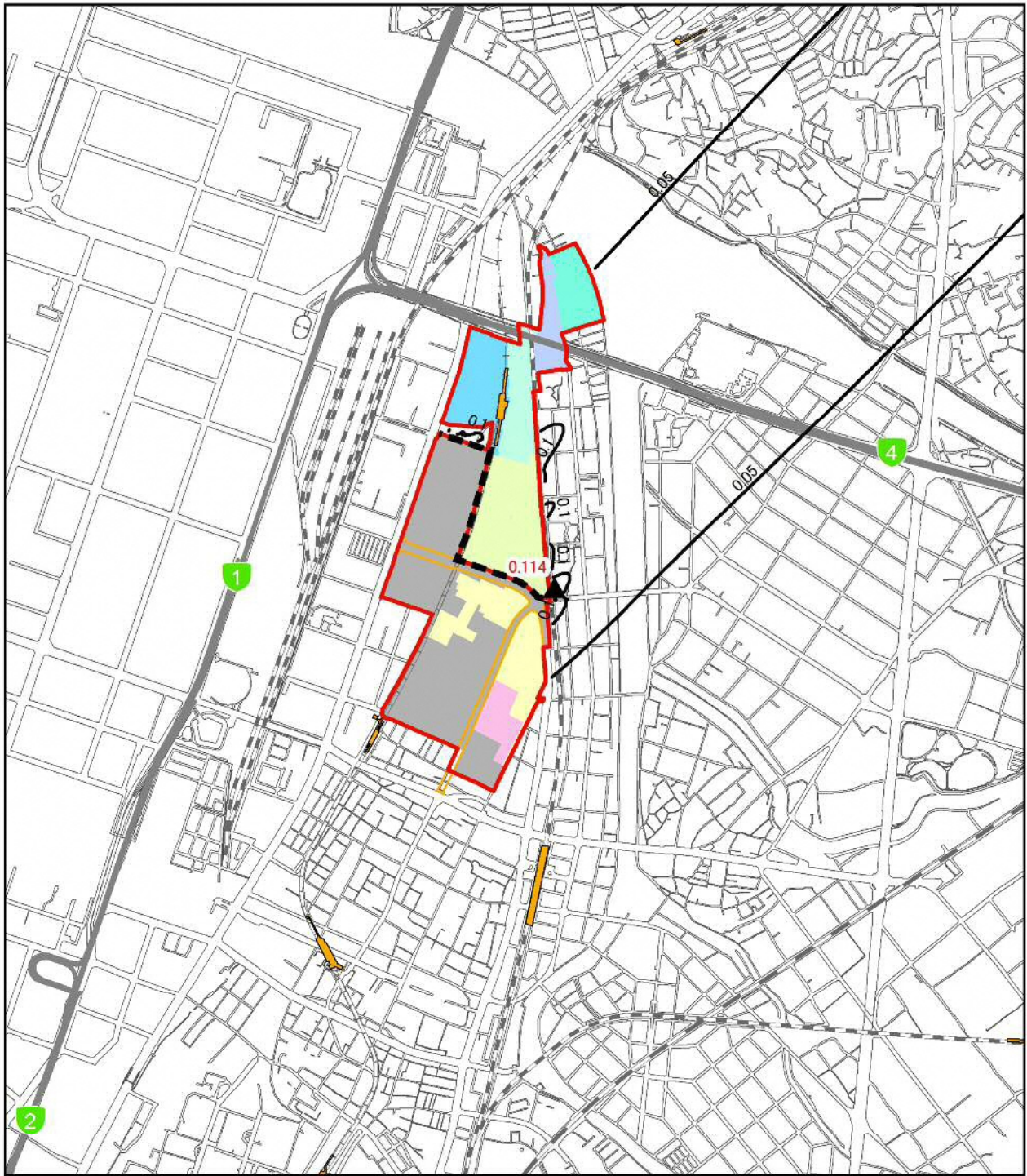


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 WSW 大気安定度 D

数値は、バックグラウンド濃度を含む。  
指針値は、1時間値が0.1~0.2ppm以下

図 1-5(4) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果  
(1時間値): 風向 WSW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路 (関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

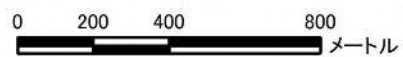
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

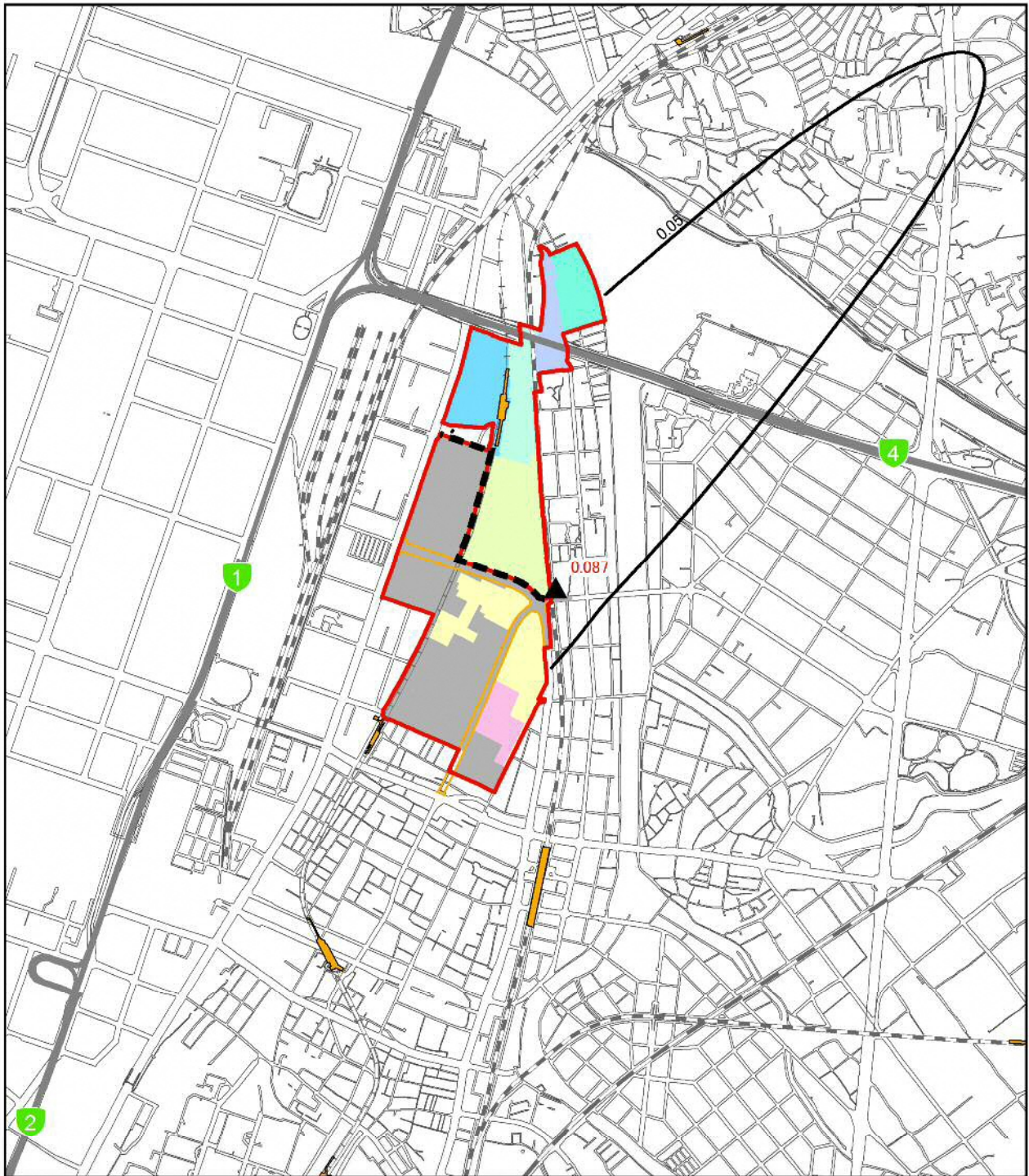


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 SW 大気安定度 D

数値は、バックグラウンド濃度を含む。  
指針値は、1時間値が0.1~0.2ppm以下

図 1-5(5) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素の予測結果  
(1時間値): 風向 SW 大気安定度 D (環境保全措置実施前)





凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路 (関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

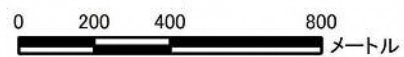
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

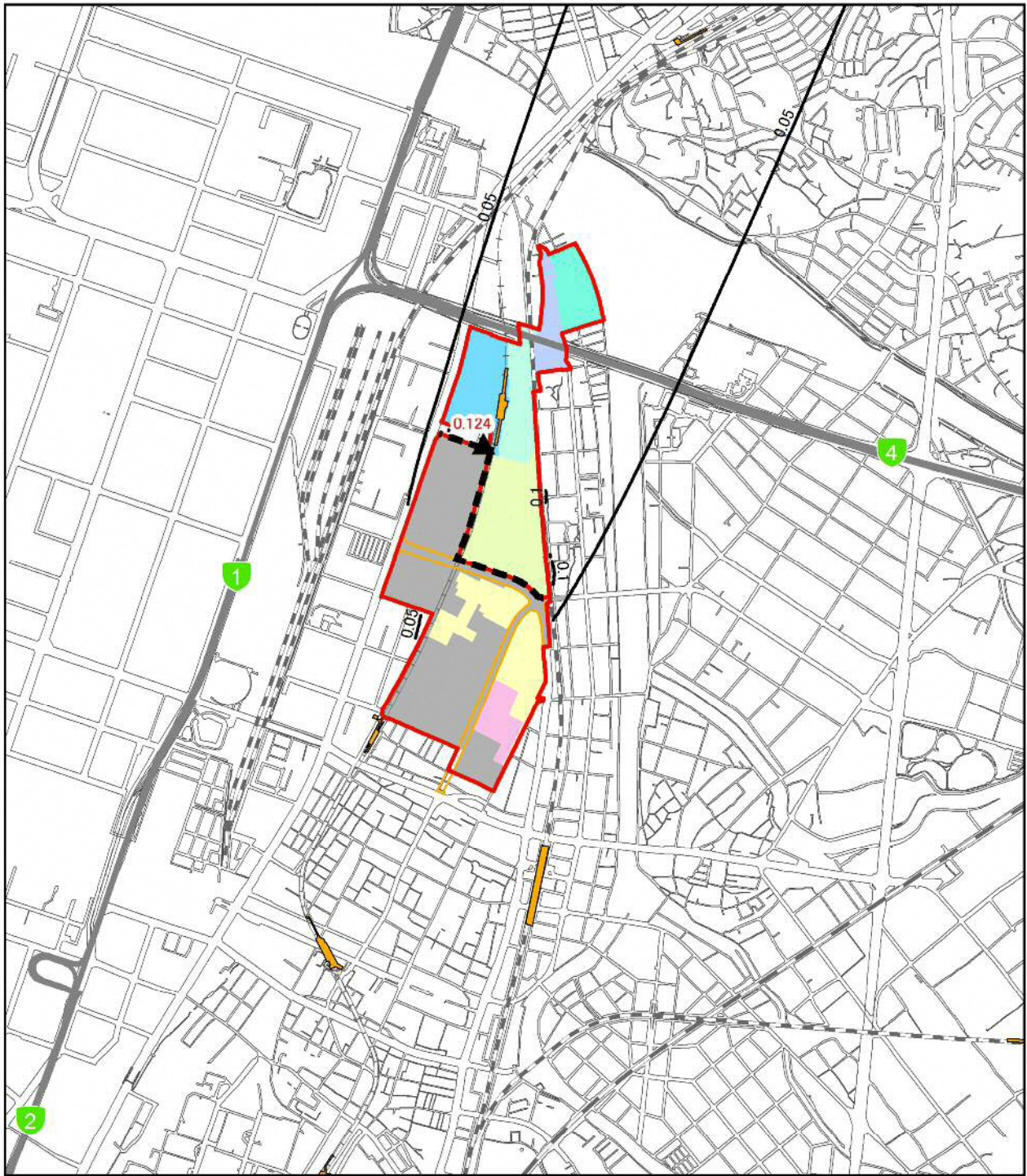


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 SW 大気安定度 D

数値は、バックグラウンド濃度を含む。  
指針値は、1時間値が0.1~0.2ppm以下

図 1-5(6) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素の予測結果  
(1時間値): 風向 SW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

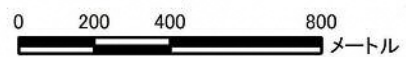
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 SSW 大気安定度 D

数値は、バックグラウンド濃度を含む。  
指針値は、1時間値が0.1~0.2ppm以下

図 1-5(7) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果  
(1時間値): 風向 SSW 大気安定度 D (環境保全措置実施前)